

学生募集要項

令和7年度・一般選抜用

明るい未来を切り開く



名古屋市立大学

目 次

教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
人文社会学部からのお知らせ	13
第1 募集人員	14
第2 出願資格	15
第3 障害等を有する入学志願者との事前相談	16
第4 出願手続	16
第5 不合格の扱い	19
第6 試験場	20
第7 試験期日	20
第8 合格発表・入学許可書	20
第9 入学手続	21
第10 入学初年度納付金額	21
第11 追加合格	22
第12 簡易成績開示	23
第13 試験場の下見	24
第14 試験当日の注意事項	24
第15 入学者選抜方法等	
前期日程（医学部・経済学部・人文社会学部・芸術工学部・データサイエンス学部）	25
後期日程（経済学部・人文社会学部・芸術工学部・総合生命理学部）	42
公立大学中期日程（薬学部）	53
第16 試験場及び学生課入試係案内	56
第17 教養教育・各学部の概要	58
出願状況速報・追加合格の実施状況	67

緊急時における大学からのお知らせについて

本募集要項の内容を変更する必要がある場合や、災害の発生時などの緊急時の連絡は、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。

○本学ウェブサイト

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/>



名古屋市立大学

《教育に関する目標》

教育は、学部・大学院を問わず、大学が社会や学生・大学院生に対して果たす最優先の責務であり、その強化に取り組む。そして、あらゆる機会を通じて幅広い視野と教養、「共生」の精神、豊かな創造性を身につけた人材を育成する。また、高度な知識と技術を身につけ、目的意識と主体性を持って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人材を育成する。

《アドミッション・ポリシー》

名古屋市立大学では、各学部がその理念と目的に応じて、入学者選抜試験における教科・科目を設定しており、明確な目的意識と勉学への強い意欲を持ち、大学の教育に関する目的を理解し、次のような資質を有する多様な学生を求めます。

- 十分な基礎学力とそれに裏打ちされた知識・技能
- 自ら課題を発見・解決し、それを伝える思考力・判断力・表現力
- 主体性を持ち、幅広い視野で多様な人々と協働して学ぶ態度
- 豊かな人間性と、地域や社会で活躍できる適性

医学部医学科

《理念と目的》

- 人間味にあふれ、深い医学知識と技術を備えた医師を養成する。
- 人類の未来に貢献する医学研究を行い、その成果を社会に還元する。
- 名古屋都市圏の中核医療機関として、地域住民の健康と福祉を増進する。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

医学・医療への使命感と倫理観、幅広い知識と向学心をもち、他の医療従事者と協調してリーダーシップを発揮し、患者中心の医療ができる国際的視野をもった学生を求めます。

- 医学・医療への使命感と倫理観をもった人
- 幅広い科目の学力と向学心を備えている人
- 温かみで信頼され、協調性をもってリーダーシップを発揮できる人
- 国際的な視野をもち、医学・医療の発展に気概ある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 基礎医学を学習する上での基盤となる理科、数学、語学の基礎学力
- 文章の読解、考えの口頭および文章での表現、円滑なコミュニケーションのための十分な国語力と英語力
- 人間理解の基盤となる社会、経済、文化、芸術、思想など多様な領域に対する向学心と素養
- 自ら学習課題を見出し解決できる意欲と行動力

選抜方法

個別学力検査及び面接を課し、試験科目毎に設定した合格基準をすべて満たした者の中から、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合して入学者の選抜を行う。

医学部保健医療学科看護学専攻

《理念と目的》

教育理念

人間の尊厳を理解し、看護を通じて保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する。

教育目標

- 幅広い教養を育み豊かな人間性を養う。
- 科学的根拠に基づいて判断できる力と社会の変化に対応できる実践力を養う。
- 保健医療サービスを受ける人々や提供する側の諸職者との協力的関係を調整する力を養う。
- 地域的問題から国際的問題まで幅広い視野を持って人々の健康を考える力を養う。

《アドミッション・ポリシー》

看護学は、人々の健康を生活の側面より支えることを学ぶ学問です。看護学専攻では、次のような人を求め、入学を歓迎します。

求める学生像

- 看護学に興味があり、将来、看護に関する仕事を通して社会に貢献したいと考える人
- 目標に向かって新しいことを意欲的に学ぶ姿勢をもっている人
- 人に対する温かい態度と物事を客観的に捉え判断することのできる冷静さを併せ持っている人
- 人とのかかわりをいとわず、様々な背景をもつ多様な文化を尊重し、他者への思いやりをもっている人
- 理系および文系科目を幅広く履修し、多様な側面をもつ看護学を修得するための十分な基礎学力を身につけている人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 理系および文系科目の幅広い知識と、看護学を修得するための十分な基礎学力
看護学は、医学や薬学をはじめとする自然科学系の学問や、人との関係や家族や社会との関わり、様々な制度など、人文科学や社会科学に関する内容を専門基礎としての位置づけで学習します。そのため、入学には、高等学校卒業までに修得すべき基礎学力を偏りなく、幅広く身につけておくことが必要です。
- 他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力
看護の対象は様々な年代や健康状態にあり、自分とは異なる多様な背景を持つ人です。他者と良好な関係を築くためには、相手の考えや気持ちを理解することに加え、自分の考えを言語化しそれを適切に伝えられることが必要です。
そのため、国語および英語などによる基本的なコミュニケーション能力を身につけておくことが求められます。

選抜方法

大学入学共通テストに個別学力検査およびグループ面接を加えて、十分な基礎学力を確認するとともに、《求める学生像》にある資質、《修得しておくべき知識等の内容・水準》に示した他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力を確認します。この確認には、グループ面接の結果を含みます。

医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻

《理念と目的》

リハビリテーションは、病気や怪我により身体および認知機能が低下した方に対し、「その人らしく生きる権利の回復」および「自分らしく生きることの獲得」を支援します。リハビリテーション学専攻は理学療法学コースと作業療法学コースから構成され、次のような学生を求め、入学を歓迎します。

求める学生像

- 地域の健康と医療の発展に貢献するという強い使命感と倫理観を持った人
- リハビリテーションを科学的に探究する高い学修意欲を有している人
- 医療に携わる様々な職種と協働し、患者中心の医療を提供するためのリーダーシップを発揮する意欲のある人
- 幅広い知識と教養を身につけている人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 医学から自然科学、言語、法律等幅広い分野を学修するための文理の別のない基礎学力が必要です。
- 医療の現場において患者および家族の気持ちを理解し、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力が求められます。
- 課題を設定し、それを自ら解決するための積極的な行動力が求められます。

《理学療法学コース アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 理学療法に興味があり、地域社会や国際社会に貢献する意欲のある人
- 人の尊厳を尊重し、人や社会、文化の多様性を認め、他者と良好な関係を築くことができる人
- 知的探究心と柔軟な思考力をもち、問題解決に向けて継続的に取り組むことができる人
- 主体的に他者と連携し、リーダーシップを発揮する意欲のある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 論理的思考力と客観的判断力を備え、専門知識・技術・態度を学修していくため、文理の別のない幅広い基礎学力が必要です。
- 自己研鑽を継続していくため、粘り強く物事に取り組むことができる力が求められます。
- 医療専門職として多職種で患者および家族を支援していくため、他者との連携が必要な課題に誠実に取り組む協調性と行動力が求められます。
- 患者および家族と信頼関係を築くため、他者を理解する意欲と倫理観を備えたコミュニケーション能力が求められます。

選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査で、医学や保健・医療・福祉の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力等を確認します。

《作業療法学コース アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 作業療法に興味があり、地域社会や国際社会に貢献する意欲のある人

- 人の尊厳を尊重し、人や社会、文化の多様性を認め、他者と良好な関係を築くことができる人
- 知的探究心と柔軟な思考力をもち、問題解決に向けて継続的に取り組むことができる人
- 主体的に他者と連携し、リーダーシップを発揮する意欲のある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 論理的思考力と客観的判断力を備え、専門知識・技術・態度を学修していくため、文理の別のない幅広い基礎学力が必要です。
- 自己研鑽を継続していくため、粘り強く物事に取り組むことができる力が求められます。
- 医療専門職として多職種で患者および家族を支援していくため、他者との連携が必要な課題に誠実に取り組む協調性と行動力が求められます。
- 患者および家族と信頼関係を築くため、他者を理解する意欲と倫理観を備えたコミュニケーション能力が求められます。

選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査で、医学や保健・医療・福祉の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力等を確認します。

薬学部

《理念と目的》

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究能力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 薬学への強い意欲と探究心を持った人
科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。
- 医療・薬学への使命感と倫理観を持った人
薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。
- 科学を中心とする幅広い学力を有する人
薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。
- 国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人
医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。
- 生命科学としての薬学への向学心を有する人（生命薬科学科）
将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。
- 医療人としての自覚を持てる人（薬学科）

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

●大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

修得しておくべき知識等の内容・水準

薬学部では、両学科とも広範で多様な学問分野を総合的に学習する。また、どのような分野で活躍するにしても、語学力（国語、英語）が必要とされる。したがって、薬学部での学修を実り多いものとするために、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力をつけておくことが必要である。さらに、部活やボランティアなど、様々な活動に積極的に取り組むことで、表現力やコミュニケーション能力のほか、幅広い視野と高い倫理観、そして豊かな人間性を育むことが望ましい。

選抜方法

志望する学科に必要な幅広い知識、思考力、学習意欲、探究心、倫理観を有する学生を、以下の方法により選抜する。

高等学校卒業程度の基礎学力を身につけ、特に数学、化学、英語について高い水準の学力がある学生を選抜する。

大学入学共通テストでは、6教科8科目の幅広い基礎学力をはかる。

個別学力検査では、数学、化学、英語を課し、理解力や応用力などを評価する。

経済学部

《理念と目的》

経済学部の基本的な目的は、広い教養を持ち、経済学と経営学の諸理論に精通し、各自が直面するであろう経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような人材を社会に送り出すことです。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

本学部の教育理念と目的にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎します。

- 経済・経営分野に強い関心を持っている人
- 社会課題の克服に向け挑戦する意思を持っている人
- 国際的分野について十分な理解力を持っている人
- 豊かな教養の形成を目指す人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 国内外の状況を知ったり、専門の文献を読んだりするための語学力
- 論理的な分析をするための基礎となる数学の知識
- 人間の行動を理解するための幅広い知識

入学者選抜の方針

経済・経営分野の土台となる基礎学力を確認するために大学入学共通テストを課しています。個別学力検査では、経済・経営の学習に十分対応できる知識とそれを利活用した思考力、判断力、表

現力を確認します。これら両試験を通じて、本学部のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める学習成果を確認します。

人文社会学部

《理念と目的》

- 人類の豊かな未来を求めて人文科学・社会科学の諸分野について学び、今日の人間、社会、文化に関わる課題について研究して、それを社会に役立てる人材
- 現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な諸問題を多面的に考察し、実践的に解決していく知を身につけた人材
- 少人数教育の演習・論文指導によって、発表・討論能力や構想力・文章表現力を身につけた人材

《アドミッション・ポリシー》

人文社会学部では次のような学生の入学を期待している。

求める学生像

- 人間・社会・文化に関わる諸問題に関心を持ち、持続可能な社会の形成に向けて、学際的な知識と柔軟な発想力をもって積極的に取り組む人
- 日常、当たり前になっている習慣や規範、考え方を客観的に捉え直し、国内外における現代的課題に対して、根本的にかつ多角的にアプローチできる人
- 学ぶ意欲があり、さまざまな人との出会いや新たな経験に主体的である人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 国語・英語・数学において十分な基礎学力を有すること
- 自分の考えを筋道立てて説明できる論理的な思考力や言語表現力を持ち、他者の声に傾聴するなど十分なコミュニケーション能力を備えていること

入学者選抜の基本方針

高等学校等で学習する全ての教科が人文社会学部教育の土台になるため、いずれの入試においても、調査書の評定、または、大学入学共通テスト等で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

《心理教育学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 人間について、その発達や個性、保育・教育環境に関心を持ち、心理学や教育学を基礎として学び、生涯発達ならびに子育て／育ちの支援に貢献しようという意欲のある人
- 心理学と教育学にとどまらず、他分野の知識も生かして、人間の多様なあり方について総合的に捉え、子どもの発達に関わる現代的諸課題の緩和または解決に向けて積極的かつ主体的に取り組もうとする人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 文章を読み、考えを口頭や文章で表現するため、円滑なコミュニケーションをするために、日本語の十分な能力、英語の基本的運用能力を身につけていること
- 心理学・教育学や社会科学において、諸現象の数理的解析のために必要な、数学の基本的な内容と応用力を身につけていること
- 現代的な諸課題の背景を読み解くために求められる社会科、理科などの基本的な知識を有していること

入学者選抜の基本方針

英語と国語の試験により、心理学・教育学の知識を修得するに足る基礎学力と、それを活用した思考力、判断力及び表現力等、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

《現代社会学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 現代社会が直面する諸問題とりわけ身近な都市圏・地域社会に深い関心を持ち、持続可能な社会の形成に向けて解決のために努力する人
- 現代社会の諸問題について、自らどのような問題であるか考え、探究し、社会科学の諸分野を幅広く深く学び、社会調査などの基本的スキルを身につける意欲のある人
- 大学での社会科学学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 高校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を十分有していること
- 大学での学修に必要な課題発見力、論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること

入学者選抜の基本方針

現代社会学科の学修に十分対応できる知識とそれを活用した思考力、判断力及び表現力等、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

《国際文化学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 本学科における学びの準備として、文化的な創作・鑑賞活動の大切さやグローバルかつローカルな視座に基づく文化理解の重要性が理解できる人
- 人文科学・社会諸科学分野の幅広い教養を身につけ、グローバルかつローカルな視点から自文化と他文化の相互関係を理解しようとする意欲のある人
- 英語など外国語の実践的な言語コミュニケーション能力を身につけることで、異文化間の交流を促進し、国際平和に必要な不可欠な多文化共生社会を実現する主体になることに意欲のある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 高校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を有していること
- 文章を読み、自分の考えを論理的に表現することができる、外国語の基本的運用能力ならびに日本語の十分な能力を身につけていること

入学者選抜の基本方針

国際文化学科の学修に十分対応できる知識とそれを活用した思考力、判断力及び表現力等、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

芸術工学部

《理念と目的》

- デザイン、芸術と工学分野の幅広い知識と理論を学ぶことにより、環境の持続可能性、健康福祉など、社会的要請の強いテーマに対する問題解決能力を養います。

- デザインと工学分野の専門的知識、理論、技法を学ぶことにより、形態と機能のバランスを保ったデザイン力を養います。
- デザインの実践教育の場として、少人数学習によるデザイン実習を重視しています。
- 外国人教師による講義やワークショップ等での実習指導により、国際的に活躍できる人材を養成します。

《情報環境デザイン学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエイター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人
- 情報通信、メディア工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- 学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人
- 理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエイター、技術者等を目指す人
- 数学や英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人（前期のみ）
- 豊かな表現力、優れた構想力に加え、数学や英語の学力、理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人（後期のみ）
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力
- ユーザーインターフェイス、映像、音響分野のデザインや造形およびメディア表現の実習で、自由な表現を可能とするための文章による論理的記述力または素描による基礎的描写力（前期のみ）
- ユーザーインターフェイス、映像、音響分野のデザインや造形およびメディア表現の実習で、自由な表現を可能とするための描写力と構想力（後期のみ）
- 外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- 文章の読解、考えの文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力
- 人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養

選抜方法

- 大学入学共通テストでは6教科7科目の試験を課し、情報工学・デザインを学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。個別学力検査では数学、外国語（英語）、小論文または実技を課し、思考力・応用力、語学力に加え論理的記述力や基礎的描写力を評価する。（前期のみ）
- 大学入学共通テストでは4教科5科目の試験を課し、情報工学・デザインを学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。個別学力検査では実技を課し、描写力および想像力や表現力を評価する。（後期のみ）

《産業イノベーションデザイン学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、工学およびデザイン分野においてイノベーションを創出できる技術者およびデザイナーとして、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 現代社会の諸問題を、芸術的手法および工学的手法で解決することに興味を持つ人
- 電子・情報・ロボット工学などの先端工学技術およびプロダクト・グラフィックなどの高度デザイン技術を積極的に学びたい人
- デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し工学およびデザインの知識により解決策を提案できる人
- 学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
- 数学や英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人（前期のみ）
- 豊かな表現力、優れた構想力に加え、数学や英語の学力、理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人（後期のみ）
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 電子・情報・ロボット工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力（前期のみ）
- 電子・情報・ロボット工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基盤となる基礎学力（後期のみ）
- プロダクト・グラフィック・3DCG 分野のデザイン実習や造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力（前期のみ）
- プロダクト・グラフィック・3DCG 分野のデザイン実習や造形の実習で、自由な表現を可能とするための描写力と構想力（後期のみ）
- 外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- 文章の読解、考えの文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

選抜方法

- 大学入学共通テストでは6教科7科目の試験を課し、工学・デザインを学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。個別学力検査では数学、外国語（英語）、実技を課し、思考力・応用力、語学力に加え基礎的描写力を評価する。（前期のみ）
- 大学入学共通テストでは4教科5科目の試験を課し、工学・デザインを学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。個別学力検査では実技を課し、描写力および想像力や表現力を評価する。（後期のみ）

《建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人
- 継続的な努力ができる人
- 自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- 人間性豊かな感性と探究心を持つ人

- 大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- 多様な社会や異文化に興味を持つ人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- 文章の読解、考えの文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力と英語力
- 文章による論理的記述力または素描による基礎的描写力（後期のみ）
- 建築学・都市学および人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養

選抜方法

- 大学入学共通テストでは6教科8科目の試験を課し、建築学・都市学を学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。個別学力検査では数学と外国語（英語）を課し、思考力・応用力に加え語学力、知識・関心等を評価する。（前期のみ）
- 大学入学共通テストでは6教科7科目の試験を課し、建築学・都市学を学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。個別学力検査では小論文または実技を課し、論理的記述力や基礎的描写力を評価する。（後期のみ）

総合生命理学部

《理念・目的》

人材養成に関する目的

- 生命科学を中心に、自然科学全般と数理情報科学の基礎を身に付けた上で専門分野を学修することで、柔軟な思考ができる人材を養成する。
- 理学の総合的な学修を通じて、情報収集力、論理的思考力、企画力、実行力を備え、イノベーションの創出に貢献する人材を養成する。
- グローバルな視野を持ち、地域社会の発展に貢献する人材を養成する。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 生命科学、物質科学、数理情報科学のいずれか、又は複数に関心があり、好奇心を持って自ら学ぼうとする意志のある人
- 理学を学ぶための基礎学力と語学力（国語力・英語力）を修得している人
- 現象を観察し、そこに様々な疑問を持ち、その解決に強い興味を持つ人
- 論理的な思考能力で適切に判断し、結論を導ける人
- 主体的に行動し、協調性や高い倫理観を持って諸問題に対処できる人
- 自らの考えを適切に他人に伝え、互いの考えを深められるコミュニケーション力を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 高等学校等で学ぶ理系科目及び文系科目の高い学力を有すること
- 理系科目の学修に必要な数学的素養を身につけていること
- 高等学校等で学ぶ語学（国語及び英語）に関する知識及び能力を有すること
- 論理的な思考能力を有すること

選抜方法

大学における学修に必要な基礎学力を大学入学共通テストで確認します。個別学力検査では理学分野の学修に特に必要とされる理科と数学について、基本知識と論理的な思考力を身につけているか確かめます。小論文では、自らの考えを適切に記述する文章力を評価します。

データサイエンス学部

《理念・目的》

データサイエンスは、統計学や AI などの情報工学を横断的に活用し、社会の様々な分野に存在する多様で膨大なデータから有益かつ新たな知見を引き出すことを通じて、各分野における課題にアプローチする分野横断型の学問です。データサイエンス学部では、そのような知識と技術にもとづいて社会と地域における諸課題の解決に取り組み、社会の発展に貢献できる実践的な能力を有する人材を養成することを目的としています。

《アドミッション・ポリシー》

求める人物像

- 統計学や数学、情報工学を活用してデータから新しい知見を見出すことに興味があり、好奇心を持って自ら学ぼうとする意志のある人
- 社会における様々な現象や事象に興味・関心を持ち、そこに現れる疑問や課題の解決に向けたデータの活用に関する理論や技術、実践事例を学びたいと考える人
- 統計学や数学、情報工学を学ぶために必要となる数理分野の基礎学力を修得している人
- データサイエンスの専門科目やPBLの履修において、実務情報や学術的入門書からの情報収集に対応できる基礎的な英語力を修得している人

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、使用するとは限りません。

本学過去問題の掲載について

本学ウェブサイトにて個別学力検査過去問題・解答例を掲載しています。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/past-exam/test/>

人文社会学部からのお知らせ

人文社会学部においては、各種の資格・免許が取得できますが、複数の資格・免許の取得を目指す場合や、他学科で開講する授業科目を履修することで取得できる資格・免許については、4年間で取得できない場合があります。受験される学科を選択される際には特にご注意ください。

資格・免許	在籍学科	心理教育学科	現代社会学科	国際文化学科
幼稚園教諭一種免許状、保育士資格		○	×	×
中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史、公民）		△	○	△
中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）		△	△	○
社会福祉士国家試験受験資格		△	○	△
社会調査士資格		×	○	×
認定心理士資格		○	×	×
公認心理師試験受験資格（※）		○	×	×

○：在籍する学科において開講する授業科目を履修することで、資格・免許が取得できます。

△：他学科において開講する授業科目を履修することで、資格・免許が取得できます。ただし、4年間で取得できない場合があります。

×：在籍する学科では資格・免許を取得できません。

※公認心理師試験の受験資格取得には、公認心理師法施行規則に定める所要の科目を開講する大学院において、所要の単位を修得して修了する必要があります。ただし大学院の履修については、省令で定められた施設において、実習指導者の資格を有する者による指導を受けながら2年以上の実務経験で代替することもできます。

第1 募集人員

学 部	学 科	募集区分	募集人員	ページ
医学部	医 学 科	地域枠学校推薦型選抜	7名 ※1	別要項
		学校推薦型選抜（中部圏活躍型）	27名 ※2	別要項
		学校推薦型選抜（名古屋市高大接続型）	3名 ※2	別要項
		前日程	60名	26ページ
	保健医療学科 看護学専攻 ※9	学校推薦型選抜B	55名	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	5名 ※5	別要項
		前日程	60名	28ページ
	保健医療学科 リハビリテーション学専攻 理学療法学コース	学校推薦型選抜A	4名 ※2	別要項
		学校推薦型選抜B	12名 ※2	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	4名 ※5	別要項
		前日程	20名	30ページ
	保健医療学科 リハビリテーション学専攻 作業療法学コース	学校推薦型選抜A	4名 ※2	別要項
		学校推薦型選抜B	12名 ※2	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	4名 ※5	別要項
前日程		20名	30ページ	
薬学部	薬 学 科 （6年制）※3	学校推薦型選抜A	6名 ※4	別要項
		学校推薦型選抜B	13名 ※4	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	2名 ※4	別要項
		公立大学中期日程	44名	54ページ
		私費外国人留学生	若干名	別要項
	生命薬科学科 （4年制）	学校推薦型選抜A	4名 ※4	別要項
		学校推薦型選抜B	6名 ※4	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	2名 ※4	別要項
		公立大学中期日程	38名	54ページ
		私費外国人留学生	若干名	別要項
経済学部	経済経営学科	学校推薦型選抜A	10名	別要項
		学校推薦型選抜B	40名	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	5名 ※5	別要項
		前日程	140名	32ページ
		後日程	70名 ※6	43ページ
		私費外国人留学生	若干名	別要項
人文社会学部 ※7	心理教育学科	学校推薦型選抜A	5名	別要項
		学校推薦型選抜B	20名 ※2	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	5名 ※5	別要項
		前日程	42名	34ページ
		後日程	12名	45ページ
		帰国生徒・外国学校出身者	若干名	別要項
	現代社会学科	私費外国人留学生	若干名	別要項
		学校推薦型選抜A	10名	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	3名 ※2	別要項
		前日程	49名	34ページ
		後日程	8名	45ページ
		帰国生徒・外国学校出身者	若干名	別要項
	国際文化学科	私費外国人留学生	若干名	別要項
		学校推薦型選抜A	6名	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	3名 ※2	別要項
		前日程	45名	34ページ
芸術工学部	情報環境 デザイン学科	後日程	12名	45ページ
		帰国生徒・外国学校出身者	2名 ※2	別要項
		私費外国人留学生	3名 ※2	別要項
		学校推薦型選抜（連携指定校型）	若干名	別要項
		学校推薦型選抜B	4名	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	1名 ※5	別要項
	産業イノベーション デザイン学科	前日程	16名 ※8	37ページ
		後日程	10名	48ページ
		帰国生徒・外国学校出身者	若干名	別要項
		私費外国人留学生	若干名	別要項
		学校推薦型選抜（連携指定校型）	若干名	別要項
		学校推薦型選抜B	4名	別要項
	建築都市 デザイン学科	学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	1名 ※5	別要項
		前日程	24名	37ページ
後日程		12名 ※8	48ページ	
帰国生徒・外国学校出身者		若干名	別要項	
私費外国人留学生		若干名	別要項	
学校推薦型選抜（連携指定校型）		若干名	別要項	
総合生命理学部	総合生命理学科	学校推薦型選抜（連携指定校型）	1名 ※10	別要項
		学校推薦型選抜（名古屋市高大接続型）	2名 ※10	別要項
		後日程	40名	51ページ
		私費外国人留学生	若干名	別要項
データサイエンス 学部	データサイエンス 学科	学校推薦型選抜B	27名 ※2	別要項
		学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型）	3名 ※5	別要項
		前日程	50名	40ページ
合	計	1,128名		

- ※1 国が進める緊急医師確保対策に基づき、愛知県内の地域医療を担う人材を育成する目的による特別枠で7名を募集するものです。
- ※2 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜（前期日程）で補充します。ただし、医学部医学科の学校推薦型選抜において、名古屋市高大接続型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、中部圏活躍型で補充します。
- ※3 薬学科（6年制）では、卒業により薬剤師国家試験受験資格が与えられます。
- ※4 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜（中期日程）で補充します。ただし、名古屋市高大接続型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、通常の学校推薦型選抜Bで補充します。
- ※5 合格者が募集人員に満たなかった場合は、通常の学校推薦型選抜Bで補充します。
- ※6 コース別の募集を行います。応募方法は、Eコース（英語選択）、Mコース（数学選択）いずれか一方を選択していただきます。募集人員はEコース、Mコース各25名及びコースにかかわらず、大学入学共通テストの成績上位者20名です。
- ※7 受験する学科を選択する際に必ず13ページに掲載している「人文社会学部からのお知らせ」をご覧ください。
- ※8 コース別の募集を行います。情報環境デザイン学科（前期日程）の募集人員は小論文コース、実技コース合わせて16名、建築都市デザイン学科（後期日程）の募集人員は小論文コース、実技コース合わせて12名です。
- ※9 保健師養成は18人以内（各学年）の選択制です。
- ※10 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜（後期日程）で補充します。ただし、連携指定校型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、名古屋市高大接続型で補充します。

第2 出願資格

本学に出願することができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テストで、本学が指定した教科・科目を受験した者

- 1 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- 5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- 6 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号） ※
- 7 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの
- 8 その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

【注】 上記、出願資格8により出願し、大学入学共通テスト出願の際、他大学の入学資格認定を受けた者で、その後本学に志望変更する者は、個別の入学資格審査が必要となるので、下記の期限までに申請すること。なお申請の手続等の詳細については本学 学生課入試係（TEL 052-853-8020）まで問い合わせること。提出された書類は返却しません。

申請期間 令和7年1月20日（月）～1月24日（金）

- ※ 文部科学大臣の指定した者のうち、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者として出願する場合は、当該資格に3科目以上合格していることも必要である。

第3 障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和6年12月3日(火)までに必ず本学へ申し出てください。

1 事前相談の方法

受験事前相談・配慮措置申請書(診断書等の必要書類添付)を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

2 連絡先 本学 学生課入試係 (TEL 052-853-8020)

第4 出願手続

インターネット出願システムで出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行った後に、出願期間内に願書類を郵送により本学に提出してください。(出願期間内に本学へ書類が到着しない場合は、受験できませんのでご注意ください。)

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>インターネット出願について
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/internet/>

【インターネット出願システムを利用した出願の流れ】

①出願情報の登録	インターネット出願システムへの登録期間にパソコンやスマートフォンから、本学のインターネット出願システムにアクセスし、画面の指示に従って出願情報を登録してください。
②出願情報の確認	入学検定料の支払い前に 登録した内容に誤りがないか必ず確認してください。入学志願票(確認用)を印刷して確認することもできます。
③入学検定料の支払い	検定料の支払い方法を選択し、入学検定料17,000円+支払手数料を支払ってください。支払い方法は以下のいずれかです。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・ネットバンキング ・ペイジー対応銀行ATM
④入学志願票等の印刷	入学志願票(提出用)、電算入力票及び宛名ラベルを印刷してください。
⑤出願書類の提出	「3 出願に必要な書類等」に記載されている書類を本学学生課入試係へ書留速達郵便で送付してください。

※出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。下記出願期間内に「3 出願に必要な書類等」に記載されている書類を郵送で提出することで完了します。

1 出願期間

令和7年1月27日(月)から令和7年2月5日(水) 16:00【必着】

※ 書留速達郵便で送付すること。消印有効ではありませんので、郵便事情を考慮して早めに送付してください。ただし、2月3日(月)以前の発信局(日本国内)消印がある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

なお、出願期間最終日(2月5日(水))のみ、郵送による出願ができない理由がある場合に限り、持参による出願書類の提出を認めます。この場合、必ず、同日の9:00から15:00の間に学生課入試係(052-853-8020)に予め連絡した上で、16:00までに本要項に記載してある出願書類の郵送先へ持参により提出してください。

※ インターネット出願システムへの登録期間は、令和7年1月20日(月) 9:00から令和7年2月5日(水) 16:00までです。

2 出願書類の郵送先

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地 桜山キャンパス
名古屋市立大学 学生課入試係

3 出願に必要な書類等

書類等		説明
インターネット出願システムから印刷する書類	① 入学志願票 (提出用)	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷してください。(印刷はカラー、モノクロのどちらでも可)
	② 電算入力票	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データは上半身、無帽、正面向き、背景なし、カラー、出願前3か月以内に撮影したものをアップロードしてください。 入力上の留意事項については19ページを参照
	③ 宛名ラベル (出願封筒用)	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷したものを市販の角型2号封筒(各自でご用意ください)に貼り付け、出願に必要な書類を封入してください。 1つの封筒には1名分のみとし、2名分以上封入してはいけません。 1つの封筒には1つの日程分の書類だけ封入してください。
	④ 大学入学 共通テスト 成績請求票	<ul style="list-style-type: none"> 出願する日程に該当する成績請求票を「①入学志願票(提出用)」の貼付欄に貼ってください。誤った日程の請求票を貼付すると、両方の日程ともに受験できなくなることがありますので特に注意してください。(紛失等により成績請求票の再発行を受けた場合は、必ず再発行された成績請求票を貼ってください。)
その他必要な書類	⑤ 調査書 ※旧姓(名)の調査書や証明書を使用する場合は、戸籍抄本等、姓(名)の変更が確認できる書類を合わせて提出してください。	<ul style="list-style-type: none"> 学校長が証明し、密封したもの 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者、大学入学資格検定合格者及び高等学校卒業程度認定試験合格者については、当該試験等の合格成績証明書(免除科目のある場合は高等学校の調査書又は成績証明書も必要です。)を添付してください。 指導要録等の保存期間の終了、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書及び単位取得証明書でかえることができます。また、同事情により上記証明書が発行できない場合は、「学校長からの発行できない旨が記載された書類」又は「卒業証書の写し」でかえることができます。 15ページの出願資格3、4又は6により出願する者の調査書に代わる提出書類については、本学 学生課入試係(TEL 052-853-8020)まで問い合わせてください。

4 入学検定料の返還

(1) 第1段階選抜の不合格者、大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者等に対しては、13,000円を返還します。該当者には、第1段階選抜結果通知又は出願無資格通知の際に本学所定の書類によりお知らせします。

(2) 上記(1)の場合以外は原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料を返還します。

詳細は本学ウェブサイト (<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/fee/refund/>) をご覧ください。

- ・二重で支払いをした場合
- ・入学検定料等の支払い後、出願書類を提出しなかった場合(出願が受理されなかった場合も)

含む)

5 受験票のダウンロード及び印刷

第1段階選抜の合格者及び第1段階選抜を実施しなかった学部の志願者は、令和7年2月12日(水)10:00から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。各自で印刷の上、試験当日持参してください。

なお、第1段階選抜の不合格者及び大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者等はダウンロード及び印刷ができませんので、ご注意ください(第1段階選抜の不合格者及び大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者等は、受験票のダウンロード画面に「1次不合格」と表示されます)。

6 医学部医学科第1段階選抜判定通知書の送付

第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

発送予定日は、令和7年2月12日(水)です。

電話等による可否の問合せには一切応じません。ただし、令和7年2月18日(火)までに到達しなかった場合は、本学 学生課入試係(TEL 052-853-8020)まで連絡してください。

7 受験案内

受験案内は本学ウェブサイトに掲載いたします。試験場案内図・試験室区分・受験者入室時刻・その他受験上の注意事項は受験案内で必ずご確認ください。

○受験案内掲載 本学ウェブサイト

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/application-status/guide/>

掲載期間：令和7年2月12日(水) 10:00から

8 出願上の注意

(1) 併願について

ア 国公立大学(ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く※。以下この募集要項で同じ。)の「前期日程」から1、「後期日程」から1、「公立大学中期日程」から1の合計3の学部・学科まで出願できます。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ウェブサイト(<http://www.kodaikyo.org/>)で確認してください。

イ 同じ日程グループ(「前期日程」「後期日程」「公立大学中期日程」)内での併願はできません。

ウ 本学では、「前期日程」から1、「後期日程」から1、「公立大学中期日程」から1の合計3の学部・学科まで出願できます。(同じ学部・学科であっても異なる日程であれば併願できますが、異なる学部・学科であっても日程が同じであれば併願できません。)

(2) 出願しようとしている学部・学科が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験しているかどうか、出願前に十分確認してください。

(3) 提出された出願書類は返却しません。

(4) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。

(5) インターネット出願システム又は出願書類に虚偽の登録又は記載をした場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。

(6) 出願手続後に住所等が変わったときは、速やかに郵便はがき等で本学学生課入試係まで連絡してください。

(7) 本学では、出願書類受理証等は発行しません。書留速達郵便で出願する際は、郵便局の発行する書留郵便物受領証を必ず保管しておいてください。

9 インターネット出願システム入力上の留意事項

- (1) 「居住地」欄は、名古屋市在住の方で、志願者又は配偶者若しくは1親等の親族が入学の日（4月1日）において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していることを住民票により証明できる方（名古屋市住民等）は「名古屋市内居住（1年以上）」を、名古屋市内に住所を有している期間が1年未満の方は「名古屋市内居住（1年未満）」を、名古屋市外に居住の方は「名古屋市内居住ではない」を選択してください。
- (2) 「住所等」の欄は、令和7年4月上旬まで確実に連絡を受けることができる連絡先を入力してください。
- (3) 「メールアドレス」欄は、パソコン・携帯電話の両方を持っている場合はどちらか一方のアドレス（確実に受信できるもの）を入力してください。
- (4) 「緊急連絡先」欄は、本人に連絡がとれないときに確実に連絡できる方（保護者等）を入力してください。
- (5) 「履歴事項」欄は、高校卒業以後から入力してください。（卒業見込者は入力不要）

10 個人情報の取扱い

個人情報については「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取扱います。

(1) 個人情報の利用

- ア インターネット出願システムに登録又は出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。
- イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）
- ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、就学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- エ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。

(2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

第5 不合格の扱い

この募集要項に定める一般選抜について、次の場合は本学の個別学力検査を受験してもいずれも不合格となります。

- 1 個別学力検査で本学が課している教科・科目、小論文、面接、実技のうち一つでも受験しないものがある場合
- 2 国公立大学の学校推薦型選抜又は総合型選抜に合格した場合（入学辞退を許可された場合を除く。）
- 3 前期日程に合格して、令和7年3月15日（土）までに入学手続を行った者は、後期日程試験又は公立大学中期日程試験を受験していても、後期日程試験又は公立大学中期日程試験の合格者とはなりません。

また、令和7年度大学入学共通テストで本学の指定した教科・科目のうち、一つでも受験しないものがある場合には、本学の個別学力検査を受験することができません。

なお、大学入学共通テストの外国語のうち、英語を選択する場合は、「リーディング」と「リスニング」の双方を受験することが必要です。いずれか一方を受験しなかった場合は、失格者として扱い、本学の個別学力検査を受験することができませんので、特にご注意ください。（ただし、リスニング免除者は除く。）

第6 試験場

試験は全て本学 滝子キャンパス(56・57ページ、項目第16を参照)で実施する予定ですが、正式には受験案内によりお知らせします。

第7 試験期日

前期日程	令和7年2月25日(火)	医学部・経済学部・人文社会学部・ 芸術工学部・データサイエンス学部
	令和7年2月26日(水)	医学部(医学科・保健医療学科看護学専攻)
公立大学中期日程	令和7年3月8日(土)	薬学部
後期日程	令和7年3月12日(水)	経済学部・人文社会学部・芸術工学部・総合生命理学部

第8 合格発表・入学許可書

1 合格発表

試験日程	前期日程	後期日程・公立大学中期日程
日 時	令和7年3月6日(木) 10:00	令和7年3月21日(金) 17:00
方 法	合格者の受験番号を本学ウェブサイトに掲載するとともに、合格者に入学許可書及び入学手続関係書類を送付します。 本学ウェブサイト https://www.nagoya-cu.ac.jp/ (電話による合否の問合せには一切応じません。また、掲示板等での掲示はありません。)	

2 入学許可書等

合格者には、合格発表日に入学許可書及び入学手続関係書類をレターパックで送付します。

- (1) 不合格者には送付しませんので、必ず本学ウェブサイトで合否を確認してください。
- (2) 合格者で、これらの書類が前期日程では3月10日(月)、後期日程・公立大学中期日程では3月24日(月)までに届かない場合は、合格発表時に本学ウェブサイトに掲載する「合格された方で、入学許可書が届いていない方へ」の指示に従い必要な書類等を準備してください。
- (3) レターパックの不着又は遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

第9 入学手続

1 受付日時・場所

試験日程	前期日程	後期日程・公立大学中期日程
手続日	令和7年3月14日（金） 15日（土）	令和7年3月26日（水） 27日（木）
時間	10:00 ～ 13:00	
場所	本学 <u>滝子キャンパス</u> 学生会館2階ホール	
方法	「大学入学共通テスト受験票」、「本学の受験票」及び 「入学時納付金(21・22ページ、項目第10参照)納付証明書（B票）」を 持参してください。その他必要な書類は後日連絡します。	

2 入学手続を行わない場合の取扱い

1の受付日時に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものととして取扱います。

3 留意事項

- (1) 入学手続の際「大学入学共通テスト受験票」に、本学で入学手続完了の印を押します。
- (2) 本学の入学手続を行った者は、本学の入学を辞退して、他の国公立大学の入学手続を行うことはできません。
- (3) 他の国公立大学の入学手続を行った者は、当該大学の入学を辞退して本学の入学手続を行うことはできません。

第10 入学初年度納付金額

1 学 費

区 分	名古屋市住民等	その他の者
入 学 料	232,000円	332,000円
授 業 料	535,800円	535,800円
計	767,800円	867,800円

注1 入学料は入学手続時に納付してください。入学手続後の入学料の返還はできません。

注2 入学料、授業料は、令和6年4月入学者の金額です。令和7年度入学者については改めてお知らせします。

注3 授業料は入学後、年2回（前期・後期）に分けて引落を実施します。

注4 名古屋市住民等とは、①入学者又は②配偶者若しくは1親等の親族が入学の日（4月1日）において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注5 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

2 諸団体納付金

区 分	医 学 部			薬 学 部		経 済 学 部	人 文 社 会 学 部	芸 術 工 学 部	総 合 生 命 理 学 部	テ ー タ サ イ エ ンス 学 部
	医 学 科	保健医療学科 看護学専攻	保健医療学科 リハビリテーション学 専攻	薬 学 科	生 命 薬 科 学 科					
後援会費	90,000 円	60,000 円	60,000 円	90,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円
同窓会費	100,000円 (瑞友会)	8,000 円 (看桜会)	—	20,000 円 (薬友会)	20,000 円 (薬友会)	30,000 円 (瑞山会)	15,000 円 (瑞桜会)	20,000 円 (萱光会)	20,000 円 (瑞滝会)	—
交流会費	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円
学友会費	11,000 円	8,000 円	8,000 円	11,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円
経済学会費	—	—	—	—	—	6,000 円	—	—	—	—
献体団体 (財)不老会 (賛助会費)	50,000 円	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学生教育研究 災害障害保険料	4,800 円	3,370 円	3,370 円	4,800 円	3,300 円	3,300 円	3,300 円	3,300 円	3,300 円	3,300 円
学研災付帯 賠償責任保険料	3,000 円	2,000 円	2,000 円	2,040 円	1,360 円	—	1,360 円	1,360 円	1,360 円	1,360 円
計	263,800円	86,370 円	78,370 円	132,840 円	97,660 円	112,300 円	92,660 円	97,660 円	97,660 円	77,660 円

注1 入学手続き時に入学金とあわせて納付してください。

注2 上記金額については変更する場合があります。確定額については入学手続き書類送付時にお知らせします。

注3 学生教育研究災害傷害保険は、入学時に全員加入となります。本学の教育研究活動中及び通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被る傷害に対して保険金が支払われます。なお、医学部、薬学部薬学科のみ、病院等で臨床実習を行う学生を対象とした接触感染予防保険金支払特約が含まれています。

注4 学研災付帯賠償責任保険は、特定の学部のみ入学時に全員加入となります。正課（医療関連実習等）、学校行事、課外活動及びその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

3 入学後に必要となる主な経費について

入学以後、学部によって以下の経費が必要になります。

- ・ 全国統一の共用試験受験料
- ・ 感染予防ワクチン接種料
- ・ リメディアル教育経費
- ・ 学外実習費等の経費

第11 追加合格

令和7年3月27日(木)の入学手続き締切の結果、欠員が生じた場合には、合格者の追加を行うことがあります。他の国公立大学又は本学において入学手続きを完了している者は、追加合格の対象となりません。令和7年3月28日(金)～31日(月)の9:00から19:00の間で、合格者あて電話により通知しますので、連絡がとれるようにしておいてください。

直接、本人へ入学の意思を確認します。追加合格による入学意思については、あらかじめ保護者

等と十分相談しておいてください。連絡がとれない場合は、追加合格の対象になりませんので注意してください。

追加合格者の入学手続については、通知の際に指示します。指示した受付期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものととして取扱います。

また、本学の追加合格入学手続を行った者は、本学の入学を辞退して、他の国公立大学の入学手続を行うことはできません。

なお、追加合格者が確定次第、電話連絡を終了します。追加合格の実施状況については、本学ウェブサイトを確認してください（67 ページ参照）。掲示による発表は行いません。

第12 簡易成績開示

一般選抜に係る個人別成績を、可否を問わず簡易な手続により開示請求することができます。ただし、**受験者本人以外が請求を行うことはできません。**

1 範 囲

- (1) 個別学力検査（面接、小論文及び実技検査を含む。）の科目別得点等
- (2) 大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が課す教科・科目別得点の素点
- (3) 総合得点順位（ただし、経済学部後期日程にあつてはコース別総合得点順位及び大学入学共通テスト評価順位）

2 請求方法

本学 学生課入試係に本学の受験票（第1段階選抜不合格者は第1段階選抜判定通知書）を持参して請求してください。郵送の場合は、封筒の表面に「簡易開示請求」と朱書し、次のものを同封のうえ、簡易書留郵便にて郵送してください。

- ・本学の受験票（第1段階選抜不合格者は第1段階選抜判定通知書）
- ・返信用封筒（長形3号。受験者本人の住所・氏名及び郵便番号を明記して460円分の切手を貼付したもの。）

※複数の試験について同時に請求する場合も、返信用封筒は1枚で結構です。

- ・「名古屋市立大学入学試験に係る簡易開示請求書」に必要事項を記入したもの。なお、「名古屋市立大学入学試験に係る簡易開示請求書」は、成績開示期間中に本学ウェブサイトからダウンロードできます。

また、入学した試験日程の成績については、入学後に配布される学生証により、学内の証明書自動発行機で開示されます。

3 期 間 (1) 郵送又は窓口での開示

令和7年4月16日（水）～ 令和7年5月15日（木）必着

※消印有効ではありません。

窓口受付時間 9：00 ～ 17：00（土、日、祝日を除く）

(2) 証明書自動発行機での開示（本学の入学者のみ）

成績開示期間等は、入学後、別途案内します。

第13 試験場の下見

試験場の下見は次の日時に行ってください。(建物の中には入れません。)

前期日程	……………	令和7年2月21日(金)	14:00から16:00まで
公立大学中期日程	…	令和7年3月7日(金)	14:00から16:00まで
後期日程	……………	令和7年3月11日(火)	14:00から16:00まで

第14 試験当日の注意事項

- 1 「大学入学共通テストの受験票」と「本学の受験票」を持参してください。また、本学ウェブサイトに掲載する受験案内を必ず読んでください。(18ページ項目第4「7 受験案内」参照)
- 2 試験当日は、試験開始時刻の20分前までに試験室に入室してください。
- 3 試験室の換気を行うため、体温調整ができる上着などの温かい服装の持参をお願いします。
- 4 不正又は不都合な行為のあった者には退室を命じ、全科目の成績について無効とします。
- 5 試験当日は、各自で昼食を持参し、教室の自席で食事をしてください。なお、清潔にこころがけ、ごみは必ず持ち帰ってください。
- 6 携帯電話等は試験室への受験者入室終了時刻までにアラーム等は解除した上で、電源を切っておいてください。
- 7 大学入学共通テストの受験票及び本学の受験票は、入学手続や成績開示に必要ですから大切に保管しておいてください。
- 8 試験場周辺又は桜山駅周辺において、各種勧誘やパンフレット類の配布等を行う者がありますが、本学とは一切関係ありません。くれぐれもご注意ください。

第15 入学者選抜方法等

前 期 日 程

医学部 ----- 26ページ

経済学部 ----- 32ページ

人文社会学部 ----- 34ページ

芸術工学部 ----- 37ページ

データサイエンス学部 -- 40ページ

医学部医学科

1 選抜方法

(1) 2段階選抜を行います。

第1段階選抜

本学が指定する教科・科目における大学入学共通テストの成績(下記(2)の表による傾斜配点)で判定し、総配点600点中の概ね74%以上(注)の者を対象とし、募集人員の約3倍の合格者を決定します。

(注)大学入学共通テストの得点平均が、令和6年度大学入学共通テストの得点平均と同程度の場合です。第1段階選抜の基準については、令和7年1月23日頃に本学ウェブサイトで公表します。

第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して個別学力検査及び面接を課し、試験科目毎に設定した最低合格ラインをすべて満たした者の中から、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

なお、個別学力検査の成績の如何にかかわらず、面接試験においてアドミッション・ポリシーに記載されている医師・医学研究者としての適性・人間性を満たさなければなりません。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

教科等 試験	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	面接	計	合計
大学入学 共通テスト	125	125	125	75		100	50	—	600	1,800
個別学力 検査等	—	300	300	—	—	400	—	200	1,200	

注1 大学入学共通テストの数学は、数学①62.5点、数学②62.5点である。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング100点、リスニング25点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の6教科8科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英、独、 仏、中、 韓から 1科目選択	「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「地総/歴総/公」(この中から2出題範囲選択)、「公、倫」、「公、政・経」から1科目選択 *1		物理 化学	情報Ⅰ

*1 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

3 個別学力検査等

(1) 実施期日及び時間

期 日	時 間	教 科 等
2月25日（火）	9：30～11：30 （120分）	外 国 語
	13：00～15：00 （120分）	数 学
	15：50～18：20 （150分）	理 科
2月26日（水）	9：00に所定の場所に集合し、その後順次開始します。 終了時刻は、面接の順序により異なります。 面接の順序は集合時に発表します。	面 接

(2) 学力検査教科・科目等

教 科 等	科 目 等
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C *1
理 科	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」 *2
面 接	医学を志す動機・意欲、医師への適性、社会性・協調性、コミュニケーション能力などを総合的に評価します。

*1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Aは全範囲を出題範囲とし、数Bは「数列」、数学Cは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。

*2 「物理基礎・物理」は「物理基礎」・「物理」の、「化学基礎・化学」は「化学基礎」・「化学」の全範囲を出題範囲とする。

医学部保健医療学科看護学専攻

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

個別学力検査及び小論文・面接を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験	教科等	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	面接	小論文	計	合計
大学入学共通テスト		200	200	200	300			50	—	—	950	1,450
個別学力検査等		—	—	200	—	—	—	—	150	150	500	

注1 大学入学共通テストの数学は、数学①100点、数学②100点である。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング160点、リスニング40点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の6教科8科目又は7教科8科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英語	① 「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「地総/歴総/公」 (この中から2出題範囲選択)、「公、倫」、「公、政・経」から選択 *1, *2		② 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」(この中から2出題範囲選択)、物理、化学、生物、地学から選択	情報Ⅰ
				ア「 ① の第1解答科目、 ② から2科目」 イ「 ① から2科目、 ② の第1解答科目」 のうち、合計得点の高い組合せを合否判定に用いる。 *3			

*1 **①**において、「地理総合/歴史総合/公共」を選択する場合、同一名称を含む科目の組合せで選択することはできない。

*2 **①**において、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せで選択することはできない。

*3 **②**において、同一名称を含む科目の組合せを本学では認めない。よって、**②**において同一名称を含む科目の組合せで解答した場合は、アを選択することができないため、イを合否判定に用いる。科目選択には十分注意すること。なお、**①**と**②**において1科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第1解答科目に含める。

3 個別学力検査等

(1) 実施期日及び時間等

期 日	時 間	教 科 等
2月25日（火）	9：30～11：30（120分）	外国語
2月26日（水）	9：30～11：00（90分）	小論文
	12:30に所定の場所に集合し、その後順次面接を行います。面接が終了した時点で解散となります。	面 接

(2) 科目・評価のポイント

教 科 等	科 目 ・ 評 価 の ポ イ ン ト
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
小 論 文	提示された日本文の資料に基づいた設問があり、それらへの考えを論述してもらいます。主に人間や社会における事象についての題材を提示し、それに関する設問に答える力（題材の理解力、立論能力、記述力などを含む）や、思考の広がりとその柔軟性を評価します。また、漢字の読み書きなどの基本的な国語力も試験します。
面 接	<p>6名前後のグループ単位で面接を行います。面接開始15分前に前室に移動し、そこで語句や単文が討論テーマとして提示されます。テーマは必ずしも医療・看護に関したものと限りません。面接室では複数の面接員と向かい合って着席します。1グループの面接時間は25分間です。最初にテーマについて自分の意見を一人ずつ1～2分間で述べてもらいます。一巡した後、残り時間はテーマについて自由に討論してください。面接員から問いかけをすることもあります。</p> <p>この面接では、次のような項目が均等に評価されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 言語表現能力：明瞭な言語表現ができる (2) 発言内容：自分自身で考えた内容が発言に含まれている (3) 討論への積極性：与えられたテーマに意欲的・積極的に取り組む (4) 態度：落ち着いた態度で討論に参加することができる (5) 調和性：他人に対して好ましい方向性をもっている

4 その他

保健師養成は18名以内（各学年）の選択制です。

医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験	教科等	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	計	合計
大学入学共通テスト		200	200	200	100		100	50	850	1,250
個別学力検査等		—	200	200	—	—	—	—	400	

注1 大学入学共通テストの数学は、数学①100点、数学②100点である。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング160点、リスニング40点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の6教科7科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英語	「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「地総/歴総/公」(この中から2出題範囲選択)、「公倫」、「公、政・経」から1科目選択 *1		「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」(地学基礎を除く3つの出題範囲から2出題範囲選択)、物理、化学、生物から1科目選択 *1		情報Ⅰ

*1 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

3 個別学力検査等

(1) 実施期日及び時間

期日	時間	教科等
2月25日(火)	9:30~11:30 (120分)	外国語
	13:00~15:00 (120分)	数学

(2) 科目・評価のポイント

教科等	科目・評価のポイント
外国語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C *1

*1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aは全範囲を出題範囲とし、数Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とする。

経済学部

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査の配点は次のとおりです。

試験	教科								計	合計
	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報			
大学入学共通テスト	100	100	100	100				400	800	
個別学力検査	—	200	200	—	—	—	—	400		

注1 大学入学共通テストの数学は、数学①50点、数学②50点である。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング80点、リスニング20点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の4教科5科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英、独、 仏、中、 韓から 1科目 選択	①「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「地総/歴総/公」(この中から2出題範囲選択)、「公、倫」、「公、政・経」		②「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」(この中から2出題範囲選択)、物理、化学、生物、地学	③情報Ⅰ

※ 「①の第1解答科目」「②の第1解答科目」「③」のうち、最も得点の高い1つを合否判定に用いる。ただし、①②において1科目のみ受験した場合の当該科目についてもここでいう第1解答科目に含める。

3 個別学力検査

(1) 実施期日及び時間

期 日	時 間	教 科
2月25日(火)	9:30~11:30 (120分)	外国語
	13:00~15:00 (120分)	数 学

(2) 学力検査教科・科目

教 科	科 目
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C *1

*1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aは全範囲を出題範囲とし、数Bは「数列」、数Cは「ベクトル」を出題範囲とする。

人文社会学部

※ 受験する学科を選択する際に、13ページに掲載している「人文社会学部からのお知らせ」を必ずご覧ください。

1 選抜方法

(1) 心理教育学科

2段階選抜は行いません。

個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと個別学力検査の配点は次のとおりです。

試験 \ 教科	国語	数学	外国語	地歴	理史	公民	理科	情報	計	合計
大学入学共通テスト	100	100	100	160				40	500	900
個別学力検査	200	—	200	—	—	—	—	—	400	

注 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。(リーディング 80 点、リスニング 20 点) ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

(2) 現代社会学科

2段階選抜は行いません。

個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと個別学力検査の配点は次のとおりです。

試験 \ 教科	国語	数学	外国語	地歴	理史	公民	理科	情報	計	合計
大学入学共通テスト	100	100	100	200					500	900
個別学力検査	200	—	200	—	—	—	—	—	400	

注 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。(リーディング 80 点、リスニング 20 点) ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

(3) 国際文化学科

2段階選抜は行いません。

個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと個別学力検査の配点は次のとおりです。

試験	教科	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	計	合計
大学入学共通テスト		100	100	100	200			50	550	1,050
個別学力検査		250	—	250	—	—	—	—	500	

注 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。(リーディング 80 点、リスニング 20 点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

(1) 心理教育学科

下記の 5 教科 6 科目または 6 教科 6 科目を合否判定に用います。

国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数 I, 数 A	英、独、 仏、中、 韓から 1 科目選択	①「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「地総/歴総/公」(この中から 2 出題範囲選択)、「公、倫」、「公、政・経」		②「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」(この中から 2 出題範囲選択)、物理、化学、生物、地学	情報 I

※ 「①から 2 科目」「①の第 1 解答科目と②の第 1 解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、①②において 1 科目のみ受験した場合の当該科目についてもここでいう第 1 解答科目に含める。

(2) 現代社会学科

下記の 4 教科 5 科目または 5 教科 5 科目を合否判定に用います。

国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数 I, 数 A	英、独、 仏、中、 韓から 1 科目選択	①「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「公、倫」、「公、政・経」		②「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」(この中から 2 出題範囲選択)、物理、化学、生物、地学	③情報 I

※ 「①から 2 科目」「①の第 1 解答科目と②の第 1 解答科目」「①の第 1 解答科目と③」のうち、最も合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、①②において 1 科目のみ受験した場合の当該科目についてもここでいう第 1 解答科目に含める。

(3) 国際文化学科

下記の5教科6科目または6教科6科目を合否判定に用います。

国 語	数 学	外国語	地理歴史	公 民	理 科	情 報
国 語	数Ⅰ、 数Ⅰ、数A から1科目 選択	英、独、 仏、中、 韓から 1科目選択	①「歴総、世探」、「歴 総、日探」、「地総、地 探」、「公、倫」、「公、 政・経」		②「物理基礎/化学 基礎/生物基礎/地学 基礎」（この中から 2出題範囲選択）、 物理、化学、生物、 地学	情報Ⅰ

※ 「①から2科目」「①の第1解答科目と②の第1解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、①②において1科目のみ受験した場合の当該科目についてもここでいう第1解答科目に含める。

3 個別学力検査

(1) 実施期日及び時間

期 日	時 間	教 科
2月25日（火）	9：30～11：30（120分）	外 国 語
	13：00～14：30（90分）	国 語

(2) 学力検査教科・科目

教 科	科 目
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
国 語	「現代の国語」「言語文化」「論理国語」「文学国語」「古典探究」

芸術工学部

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

情報環境デザイン学科においては個別学力検査及び実技検査又は小論文のいずれかを課し、産業イノベーションデザイン学科においては個別学力検査及び実技検査を課し、建築都市デザイン学科においては個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験		教科等										計	合計
		国語	数学	外国語	地理 歴史	公民	理科	情報	小論文	実技			
情報環境 デザイン 学科	大学入学 共通テスト	100	200	200	100		100	50	—	—	750	1,250	
	個別学力 検査等	—	200	200	—	—	—	—	100		500		
産業 イノベーション デザイン 学科	大学入学 共通テスト	200	200	200	100		100	50	—	—	850	1,150	
	個別学力 検査等	—	100	100	—	—	—	—	—	100	300		
建築都市 デザイン 学科	大学入学 共通テスト	100	100	100	50		100	50	—	—	500	900	
	個別学力 検査等	—	200	200	—	—	—	—	—	—	400		

注1 情報環境デザイン学科及び産業イノベーションデザイン学科における大学入学共通テストの数学は、数学①100点、数学②100点である。

注2 建築都市デザイン学科における大学入学共通テストの数学は、数学①50点、数学②50点である。

注3 情報環境デザイン学科及び産業イノベーションデザイン学科における大学入学共通テストの「外国語」は200満点とする。なお、「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。（リーディング160点、リスニング40点）ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

注4 建築都市デザイン学科における大学入学共通テストの「外国語」は100満点とする。なお、「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。（リーディング80点、リスニング20点）ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

注5 建築都市デザイン学科における大学入学共通テストの「理科」は2科目を選択し、1科目50点である。

注6 情報環境デザイン学科の個別学力検査等については、実技又は小論文のいずれかを出願時に選択する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

(1) 情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科

下記の6教科7科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英語	「歴総, 世探」、「歴総, 日探」、「地総, 地探」、 「地総/歴総/公」(この中 から2出題範囲選択)、 「公, 倫」、「公, 政・経」 から1科目選択 *1		物理、化学、 生物、地学か ら1科目選択 *1	情報Ⅰ

*1 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

(2) 建築都市デザイン学科

下記の6教科8科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英語	「歴総, 世探」、「歴総, 日探」、「地総, 地探」、 「地総/歴総/公」(この中 から2出題範囲選択)、 「公, 倫」、「公, 政・経」 から1科目選択 *1		物理、化学、 生物、地学か ら2科目選択	情報Ⅰ

*1 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

3 個別学力検査等

(1) 実施期日及び時間

期 日	学 科	時 間	教 科 等
2月25日(火)	情報環境デザイン学科	9:30 ~ 11:30 (120分)	外国語
		13:00 ~ 15:00 (120分)	数 学
		15:50 ~ 17:50 (120分)	実技又は小論文
	産業イノベーション デザイン学科	9:30 ~ 11:30 (120分)	外国語
		13:00 ~ 15:00 (120分)	数 学
		15:50 ~ 17:50 (120分)	実 技
	建築都市デザイン学科	9:30 ~ 11:30 (120分)	外国語
		13:00 ~ 15:00 (120分)	数 学

(2) 科目・評価のポイント

教科等	科目・評価のポイント
外国語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C *1
実技	描写力（対象を正確にとらえ正確に表す力）を中心に評価します。
小論文	文章表現による論理構成力・描写力を中心に評価します。

*1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Aは全範囲を出題範囲とし、数Bは「数列」、数Cは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。

(3) 実技検査のため、受験者は試験当日に次の物品を持参してください。なお、括弧内に示す以外の規格・品質・個数は問いません。

- ア 鉛筆（4H～6B程度のもの各種）
 - イ カッターナイフ、小刀、又は鉛筆削り器（ただし電動及び手動ハンドル回転式は不可）
 - ウ 練り消しゴム
 - エ プラスチック消しゴム
- ※実技試験の描写においてティッシュペーパー類の使用は不可。

(4) 実技検査過去問題について

芸術工学部では、過去の実技試験の問題等をウェブサイト上で掲載しています。
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/examination/>

データサイエンス学部

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験	教科								計	合計
	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報			
大学入学共通テスト	200	200	200	100		100	50	850	1,450	
個別学力検査	—	400	200	—	—	—	—	600		

注1 大学入学共通テストの数学は、数学①100点、数学②100点である。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング160点、リスニング40点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の6教科7科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英、独、 仏、中、 韓から 1科目選択	「歴総、世探」、「歴総、 日探」、「地総、地探」、 「地総/歴総/公」(この中 から2出題範囲選択)、 「公、倫」、「公、政・経」 から1科目選択 *1		物理、化学、 生物、地学か ら1科目選択 *1	情報Ⅰ

*1 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

3 個別学力検査等

(1) 実施期日及び時間等

期 日	時 間	教科等
2月25日(火)	9:30~11:30 (120分)	外国語
	13:00~15:00 (120分)	数 学

(2) 科目・評価のポイント

教 科	科 目 ・ 評 価 の ポ イ ン ト
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C *1

*1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Aは全範囲を出題範囲とし、数学Bは「数列」、数学Cは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。なお、数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C（「ベクトル」のみ）の範囲からだけでも解答できることとする。

第15 入学者選抜方法等

後 期 日 程

経済学部 ----- 43ページ

人文社会学部 ----- 45ページ

芸術工学部 ----- 48ページ

総合生命理学部 ----- 51ページ

経済学部

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

Eコース（英語選択）とMコース（数学選択）に分けてそれぞれ別個に個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。ただし、個別学力検査受験者のうち、大学入学共通テストの成績が上位20位以内となる者は、個別学力検査結果にかかわらず、大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者とします。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査の配点は次のとおりです。

試験		教科	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	計	合計
大学入学共通テスト			100	100	100	100				400	800
個別学力検査	Eコース		—	—	400	—	—	—	—	400	
	Mコース		—	400	—	—	—	—	—	400	

注1 大学入学共通テストの数学は、数学①50点、数学②50点である。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。（リーディング80点、リスニング20点）ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の4教科5科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英、独、 仏、中、 韓から 1科目選択	①「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「地総/歴総/公」（この中から2出題範囲選択）、「公、倫」、「公、政・経」		②「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」（この中から2出題範囲選択）、物理、化学、生物、地学	③情報Ⅰ

※ 「①の第1解答科目」「②の第1解答科目」「③」のうち、最も得点の高い1つを合否判定に用いる。ただし、①②において1科目のみ受験した場合の当該科目についてもここでいう第1解答科目に含める。

3 個別学力検査

(1) 実施期日及び時間

期 日	コース	時 間
3月12日(水)	Mコース (数学選択)	9:30~11:30 (120分)
	Eコース (英語選択)	13:00~15:00 (120分)

(2) 学力検査教科・科目

コース	教 科	科 目
Mコース (数学選択)	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C *1
Eコース (英語選択)	外 国 語	英語(「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」)

*1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aは全範囲を出題範囲とし、数Bは「数列」、数Cは「ベクトル」を出題範囲とする。

人文社会学部

※ 受験する学科を選択する際に、13ページに掲載している「人文社会学部からのお知らせ」を必ずご覧ください。

1 選抜方法

(1) 心理教育学科

2段階選抜は行いません。

小論文を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験 \ 教科	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	小論文	計	合計
大学入学共通テスト	100	100	100	160			40	—	500	700
個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	200	200	

注1 大学入学共通テストの「地理歴史、公民」、「理科」は各科目80点満点、「情報」は40点満点とする。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング80点、リスニング20点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

(2) 現代社会学科

2段階選抜は行いません。

小論文を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験 \ 教科	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	小論文	計	合計
大学入学共通テスト	100	100	100	200			—	—	500	700
個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	200	200	

注1 大学入学共通テストの「情報」は100点満点とする。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング80点、リスニング20点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

(3) 国際文化学科

2段階選抜は行いません。

小論文を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験	教科	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	小論文	計	合計
大学入学共通テスト		100	100	100	200			50	—	550	800
個別学力検査等		—	—	—	—	—	—	—	250	250	

注 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング80点、リスニング20点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

(1) 心理教育学科

下記の5教科6科目または6教科6科目を合否判定に用います。

国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	英、独、 仏、中、 韓から 1科目選択	①「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「地総/歴総/公」(この中から2出題範囲選択)、「公、倫」、「公、政・経」		②「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」(この中から2出題範囲選択)、物理、化学、生物、地学	情報Ⅰ

※ 「①から2科目」「①の第1解答科目と②の第1解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、①②において1科目のみ受験した場合の当該科目についてもここでいう第1解答科目に含める。

(2) 現代社会学科

下記の4教科5科目または5教科5科目を合否判定に用います。

国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	英、独、 仏、中、 韓から 1科目選択	①「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「公、倫」、「公、政・経」		②「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」(この中から2出題範囲選択)、物理、化学、生物、地学	③情報Ⅰ

※ 「①から2科目」「①の第1解答科目と②の第1解答科目」「①の第1解答科目と③」のうち、最も合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、①②において1科目のみ受験した場合の当該科目についてもここでいう第1解答科目に含める。

(3) 国際文化学科

下記の5教科6科目または6教科6科目を合否判定に用います。

国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ、 数Ⅱ、数A から1科目 選択	英、独、 仏、中、 韓から 1科目選択	①「歴総、世探」、「歴 総、日探」、「地総、地 探」、「公、倫」、「公、 政・経」		②「物理基礎/化学 基礎/生物基礎/地学 基礎」(この中から 2出題範囲選択)、 物理、化学、生物、 地学	情報Ⅰ

※ 「①から2科目」「①の第1解答科目と②の第1解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、①②において1科目のみ受験した場合の当該科目についてもここでいう第1解答科目に含める。

3 個別学力検査等

(1) 実施期日及び時間

期 日	学 科	時 間	教 科 等
3月12日(水)	心理教育学科 現代社会学科 国際文化学科	9:30~11:30 (120分)	小論文

(2) 評価のポイント

学 科	教 科 等	評 価 の ポ イ ン ト
心理教育学科 現代社会学科 国際文化学科	小論文	資料を読み課題に答えたもの、又は、与えられた論題について見解を述べたものを、総合的に評価します。 なお、国際文化学科では英文資料を用います。

芸術工学部

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

情報環境デザイン学科及び産業イノベーションデザイン学科においては実技検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

建築都市デザイン学科においては実技検査又は小論文のいずれかを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験		教科等											合計
		国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	小論文	実技	計		
情報環境 デザイン 学科	大学入学 共通テスト	200	200	200	—	—	—	50	—	—	650	1,050	
	個別学力 検査等	—	—	—	—	—	—	—	—	400	400		
産業 イノベーション デザイン 学科	大学入学 共通テスト	200	200	200	—	—	—	50	—	—	650	1,250	
	個別学力 検査等	—	—	—	—	—	—	—	—	600	600		
建築都市 デザイン 学科	大学入学 共通テスト	100	100	100	50		50	25	—	—	425	625	
	個別学力 検査等	—	—	—	—	—	—	—	200		200		

注1 情報環境デザイン学科及び産業イノベーションデザイン学科における大学入学共通テストの数学は、数学①100点、数学②100点である。

注2 建築都市デザイン学科における大学入学共通テストの数学は、数学①50点、数学②50点である。

注3 情報環境デザイン学科及び産業イノベーションデザイン学科における大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング160点、リスニング40点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

注4 建築都市デザイン学科における大学入学共通テストの「地理歴史、公民」、「理科」は各科目50点満点、「情報」は25点満点とする。

注5 建築都市デザイン学科における大学入学共通テストの「外国語」は100点満点とする。なお、「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング80点、リスニング20点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

注6 建築都市デザイン学科の個別学力検査等については、実技又は小論文のいずれかを出願時に選択する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

(1) 情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科

下記の4教科5科目を合否判定に用います。

国 語	数学①	数学②	外国語	情 報
国 語	数Ⅰ、 数Ⅰ、数A から1科目 選択	数Ⅱ、 数B、 数C	英 語	情報Ⅰ

(2) 建築都市デザイン学科

下記の6教科7科目を合否判定に用います。

国 語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国 語	数Ⅰ、 数Ⅰ、数A から1科目 選択	数Ⅱ、 数B、 数C	英 語	「歴総、世探」、「歴総、 日探」、「地総、地探」、 「地総/歴総/公」（この中 から2出題範囲選択）、 「公、倫」、「公、政・経 」から1科目選択 *1		物理、化学、 生物、地学か ら1科目選択 *1	情報Ⅰ

*1 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

3 個別学力検査等

(1) 実施期日及び時間

期 日	学 科	時 間	教 科 等
3月12日（水）	情報環境デザイン学科	9：30～11：30（120分）	実 技
		13：00～16：00（180分）	
	産業イノベーションデザイン学科	9：30～11：30（120分） 13：00～16：00（180分）	実 技
	建築都市デザイン学科	9：30～11：30（120分）	実技又は小論文の いずれかを選択

* 情報環境デザイン学科、産業イノベーションデザイン学科については、午前・午後ともに必ず受験すること。両時間を受験しない場合は不合格とする。

(2) 科目・評価のポイント

学 科	教 科 等	科 目 ・ 評 価 の ポ イ ン ト
情報環境デザイン学科	実 技	描写力（対象を正確にとらえ正確に表す力）、想像力や表現力（想定したものを的確に表し伝える力）等を評価します。
産業イノベーションデザイン学科		
建築都市デザイン学科	実 技	描写力（対象を正確にとらえ正確に表す力）を中心に評価します。
	小 論 文	主に建築や都市に関する題材と設問を提示します。題材への理解力、設問に答える力（論理構成力や表現力等）を総合的に評価します。

(3) 実技検査のため、受験者は試験当日に次の物品を持参してください。なお、括弧内に示す以外の規格・品質・個数は問いません。

- ア 鉛筆（4H～6B程度のもの各種）
 - イ カッターナイフ、小刀、又は鉛筆削り器（ただし電動及び手動ハンドル回転式は不可）
 - ウ 練り消しゴム
 - エ プラスチック消しゴム
- ※実技試験の描写においてティッシュペーパー類の使用は不可。

(4) 実技検査過去問題について

芸術工学部では、過去の実技試験の問題等をウェブサイト上で掲載しています。
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/examination/>

総合生命理学部

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

個別学力検査及び小論文を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

試験	教科										合計
	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	小論文	計		
大学入学共通テスト	100	100	150	50		100	50	—	550	1,050	
個別学力検査等	—	200	—	—	—	200	—	100	500		

注1 大学入学共通テストの数学は、数学①50点、数学②50点である。

注2 大学入学共通テストの「地理歴史、公民」は50点満点である。

注3 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング120点、リスニング30点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の6教科8科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英語	「歴総、世探」、「歴総、日探」、「地総、地探」、「地総/歴総/公」(この中から2出題範囲選択)、「公、倫」、「公、政・経」から1科目選択 *1		物理、化学、生物、地学から2科目選択	情報Ⅰ

*1 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

3 個別学力検査等

(1) 実施期日及び時間等

期 日	時 間	教 科 等
3月12日(水)	9:30~11:30 (120分)	数 学
	13:00~14:00 (60分)	理 科
	15:00~16:00 (60分)	小 論 文

(2) 科目・評価のポイント

教 科 等	科 目 ・ 評 価 の ポ イ ン ト
数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C*1
理 科	「物理基礎、物理」(2問)、「化学基礎、化学」(2問)、「生物基礎、生物」(2問)から1科目を選択 *2
小 論 文	日本語で与えられた科学に関わるテーマに対し、600字程度の日本語で記述

*1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Aは全範囲を出題範囲とし、数Bは「数列」、数Cは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。

*2 「物理基礎、物理」は「物理基礎」・「物理」の、「化学基礎、化学」は「化学基礎」・「化学」の、「生物基礎、生物」は「生物基礎」・「生物」の全範囲を出題範囲とする。

公立大学中期日程

薬学部 ----- 54ページ

薬 学 部

1 選抜方法

(1) 2段階選抜は行いません。

個別学力検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査の配点は次のとおりです。

試験	教科								計	合計
	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報			
大学入学共通テスト	100	100	100	100		100	25	525	1,125	
個別学力検査	—	200	200	—	—	200	—	600		

注1 大学入学共通テストの数学は、数学①50点、数学②50点である。

注2 大学入学共通テストの「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。(リーディング80点、リスニング20点)ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の6教科8科目を合否判定に用います。

国語	数学①	数学②	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
国語	数Ⅰ, 数A	数Ⅱ, 数B, 数C	英、独、 仏、中、 韓から 1科目選択	「歴総、世探」、「歴総、 日探」、「地総、地探」、 「地総/歴総/公」(この中 から2出題範囲選択)、 「公、倫」、「公、政・経」 から1科目選択 *1		物理、化学、 生物、地学か ら2科目選択	情報Ⅰ

*1 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

3 個別学力検査

(1) 実施期日及び時間

期 日	時 間	教 科
3月8日(土)	10:00~11:20 (80分)	外 国 語
	12:40~14:00 (80分)	数 学
	15:00~16:20 (80分)	理 科

(2) 学力検査教科・科目

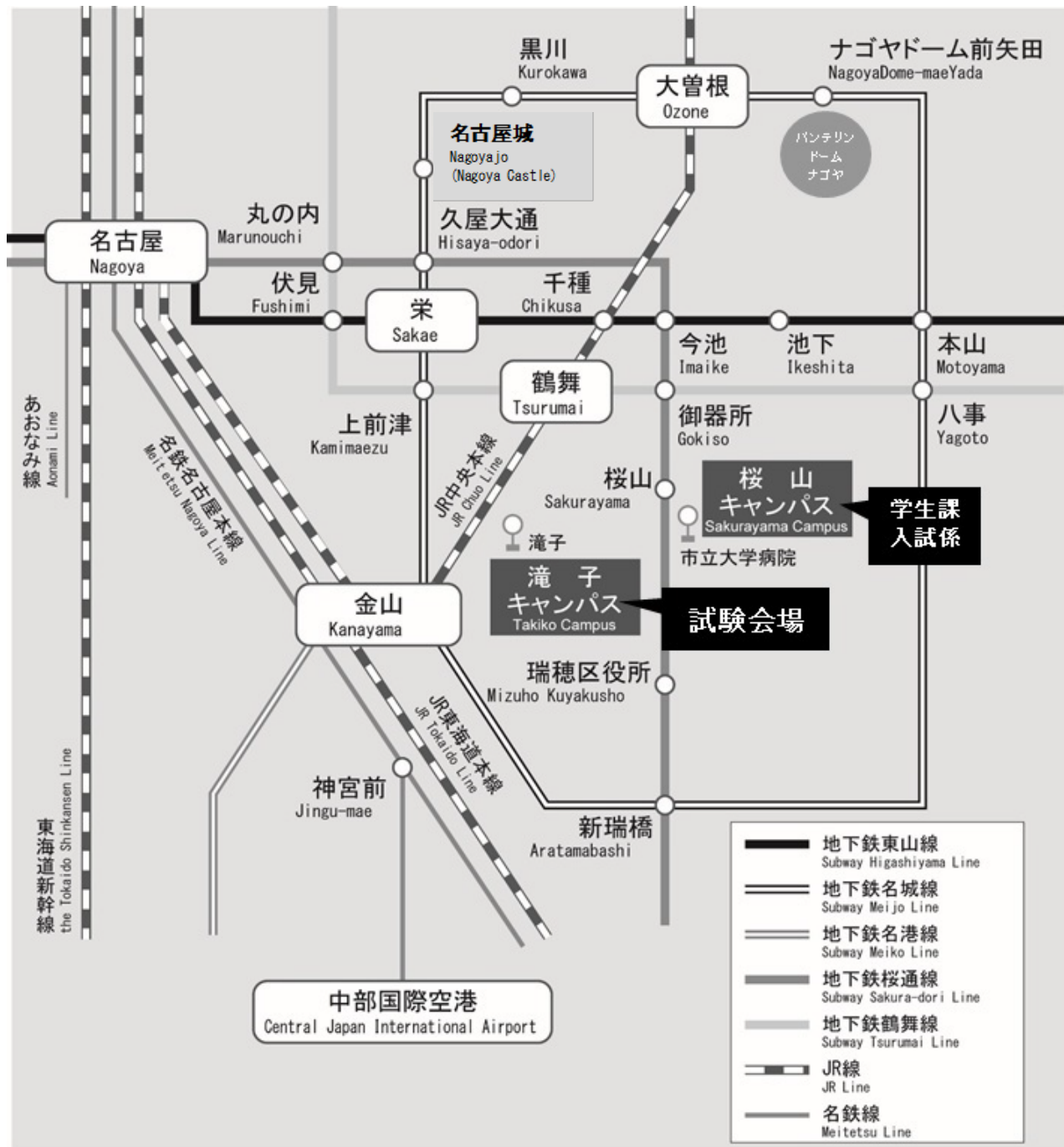
教 科	科 目
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C*1
理 科	「化学基礎、化学」*2

*1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Aは全範囲を出題範囲とし、数Bは「数列」、数Cは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。

*2 「化学基礎、化学」は「化学基礎」、「化学」の全範囲を出題範囲とする。

第16 試験場及び学生課入試係案内

交通案内については参考として掲載しております。必ず直前にご自身で確認の上、利用してください。

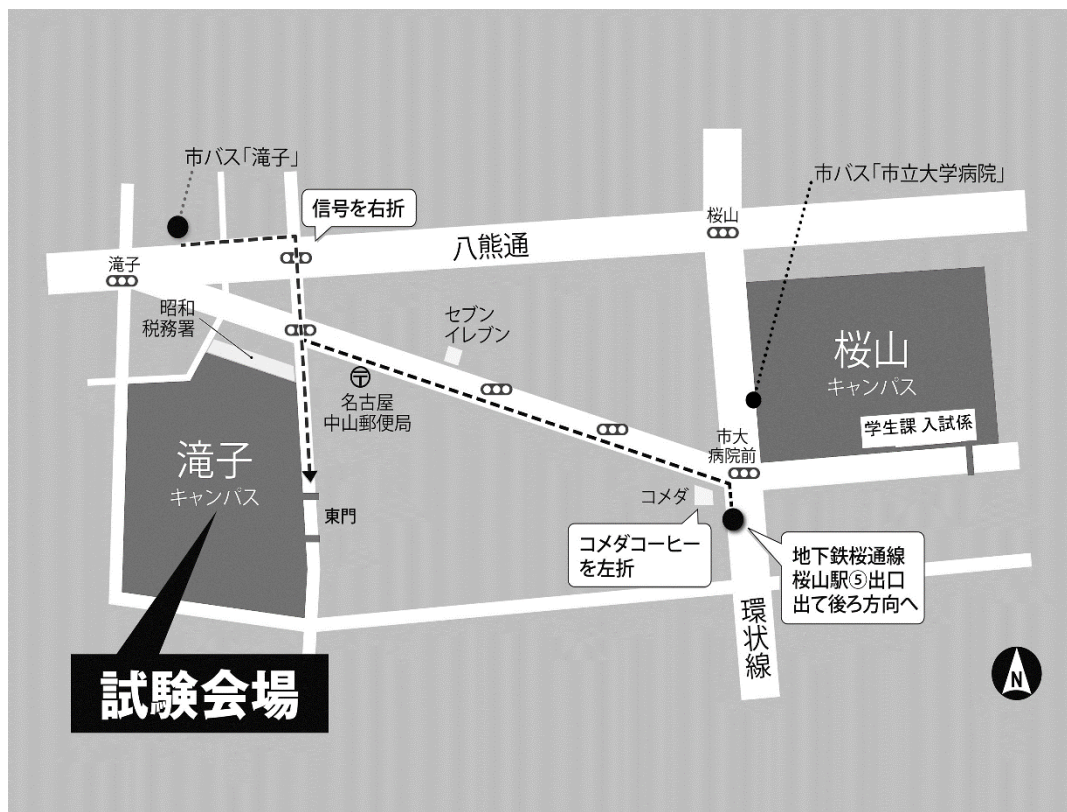


敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにもこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

20歳未満の喫煙は法律で禁止されていますが、喫煙が健康に及ぼす悪影響に鑑み、皆さんが本学入学後、喫煙者とならないよう強く希望します。

【付近図】



地下鉄

路線名	下車駅	備 考
桜通線	桜 山	滝子キャンパスへは5番出口から徒歩約10分

市バス

バス停	のりば	市バス経路			下車するバス停	備 考
		系統	起点	行先		
金山バスターミナル	7番	金山11	金 山	池 下	滝 子	<ul style="list-style-type: none"> ・滝子通2丁目は一つ手前のバス停ですから注意してください ・バス所要時間はいずれも約15分 ・バス停「滝子」から滝子キャンパスまでは徒歩数分
		金山16		瑞穂運動場東		
		金山12		妙見町		
				桜山経由金山		
	8番	金山14	桜山経由 瑞穂運動場東			

第17 教養教育・各学部の概要

教養教育・専門教育いずれも令和6年度の授業科目を紹介しています。

1 教養教育

社会の一員として自己の在り方を認識し、自らよりよき生き方を探求し、あわせて社会全体の幸福の実現に向けて貢献ができるよう、人間形成を図るとともに、専門教育への確かな土台を築くことを意図して、下記のような授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成しています。

区 分		科 目 名
共 通 科 目	大学特色科目	NCUラーニング・コンパス ヘルシーライフ キャリアデザインA・B SDGsを考える(医療系 自然系 数理情報系 社会科学系 人文系) 名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題 科学館・博物館・美術館から知る名古屋 近世名古屋の歴史 大学生から始めるESD まちづくり論 キャリアデザイン(実践編) 起業家になる 地域社会で活躍する女性 ワークライフバランスとダイバーシティ 多文化共生と国際貢献 持続可能な社会と私たち ESDと地域の環境 次世代エネルギーワークショップ
	現代社会の諸相	日本国憲法 なぜ憲法が必要なのか 現代社会と法 知的財産権入門 人と法と医療 国民所得はどう決まるか? ゲーム的状况を科学する 公共政策:健康と暮らしの社会科学 はじめての経営学 企業診断ABC 社会科学のデータ分析 社会学A 社会学B 社会学C 新聞報道の現場から 人間の行動・心理と建築 平和論 私たちの暮らしと政治・行政・地方自治 国際政治 比較政治史 シティズンシップ入門 地域力を高めるひとづくり
	文化と人間性の探求	日本文化の理解 人類学 日本語コミュニケーション 囲碁に学ぶ ヨーロッパの文化と歴史 文化に見る歴史 アメリカ史入門 都市と地域構造の地理学 音楽と文化 デザインと情報 人間と表現 自分とみんなで考える哲学 応用倫理学 心理学概論 心理学入門 西洋の教育と哲学 次世代育成と地域の課題 デジタル時代の人文学 世界を理解するための宗教学 日本の宗教の歴史と文化 キー・コンピテンシー
	人間と自然	科学史 環境と社会・制度・政治・経済 環境科学 植物の多様性と環境 動物とヒトの進化多様性 社会と医学 くすりと社会 都市と自然 健康と生活 リハビリテーション概論 行動生態学
	自然と数理の探求	教養として知っておきたい様々な病気の实態 創薬と生命 宇宙のなりたち 植物とバイオテクノロジー エネルギーのサイエンス バイオサイエンス入門 情報と数理の世界 データサイエンスへの誘い 地球史入門 地域生態学
	英 語	IS: Community IS: Social Justice IS: Life & Work IS: Health & Well-being IS: The Arts AE: Make a Difference in Your Community AE: Interact Internationally AE: Improve Life Skills AE: Raise Health/Environmental Awareness AE: Produce a Movie CS: Presentation CS: Grammar and Usage CS: TOEIC Preparation CS: Writing EM: World News EM: Popular Culture EM: Reading for Inspiration EM: Online Articles and Videos
	その他の言語	ドイツ語初級・初級会話 フランス語初級・初級会話 中国語初級・初級会話 韓国語初級 スペイン語初級 日本手話初級 ポルトガル語入門 ロシア語入門 イタリア語入門 アラビア語入門 日本語上級 日本語リーディング・リスニング 日本語ライティング 日本語プレゼンテーション 日本語ディスカッション 日本語レポート作成
	情報科目	情報リテラシー データサイエンス・リテラシー デジタル表現基礎
	健康・スポーツ科目	健康・スポーツ科学 健康・スポーツ実技
	ボランティア科目	
基 礎 科 目	物 理 学	物理学基礎 力学 電磁気学 波動・熱力学
	化 学	化学概論 化学基礎 化学熱力学基礎 有機化学 生体分子化学
	生 物 学	基礎生物学 生物学基礎 生物学
	自然科学実験	自然科学実験
	数学・統計学	微分積分学 線形代数学I・II 数学A1・A2 数学B1・B2 統計学A・B 微分積分基礎 線形代数基礎 微分積分基礎演習 線形代数基礎演習
	地域参加型学習	名市大IPE1、2 地域連携参加型学習
	早期体験学習	生命薬科学研究入門
看護基礎	基礎科学 家族社会学	

※ 学部によって、履修可能な科目が異なります。

※ それぞれの母語科目を履修してその他の言語の必要単位とすることはできません。

専門教育

(1) 医学部医学科

医学は人の健康を守ることによって、人類と社会の福祉に貢献することを使命としています。そのために人体の複雑な構造と機能を多方面から理解把握し、それらの構造と機能の異常に基づく各種疾病についての知識を十二分に身につけ、的確な診断と適切に予防・治療できる能力ならびに医学の科学的発展に貢献しうる能力を養います。また疾病と社会環境ならびに生活環境との関連性についても学びます。

区 分	授 業 科 目	
	コース名	ユ ニ ッ ト 名
基 礎 医 学	解剖学コース	肉眼解剖学
		組織学・発生学・神経解剖学
	生化学コース	物質と代謝
		分子と細胞
	生理学コース	植物的機能系
		動物の機能系
臨 床 基 礎 医 学	病理学コース	病態病理
		臨床病理
	薬理学コース	薬理学
	感染微生物コース	医動物学
		細菌学
	免疫学コース	免疫学
社 会 医 学	社会医学コース	予防医学基礎
		予防医学応用
		法医学
		法医診断学
		医学・医療倫理
		医学情報学
臨 床 医 学	臨床医学コース	血液・造血器・リンパ系
		神経系 (神経内科)
		神経系 (脳神経外科)
		運動器系・リハビリテーション
		循環器系
		呼吸器系
		消化器系・内視鏡
		腎・尿路系 (腎臓内科)
		腎・尿路系 (泌尿器科)
		生殖機能 (泌尿器科)
		生殖機能 (婦人科)
		妊娠と分娩
		乳房
		内分泌・栄養・代謝系
		眼・視覚系
		耳鼻・咽喉・口腔系
		精神系
		臨床感染症学
		成長と発達/発生
		麻酔科学・集中治療医学

区 分	授 業 科 目		
	コース名	ユ ニ ッ ト 名	
臨 床 医 学	臨床医学コース	食事と栄養療法	
		放射線等を用いる診断と治療	
		輸血と移植	
		膠原病	
		臨床腫瘍学	
		救急科	
		漢方医学	
臨 床 実 習	臨床実習コース	臨床処方学	
		臨床実習	
統 合 教 育	総合医学コース	選択制臨床実習	
		医学入門	
		水平統合基礎	
	行動科学・地域医療学コース	水平統合病態	
		行動科学	
		神経科学	
		疼痛化学	
		疼痛化学 (痛みと行動科学)	
		コミュニティ・ヘルスケア基礎 (IPE)	
		コミュニティ・ヘルスケア応用 (IPE)	
		コミュニティ・ヘルスケア発展 (IPE)	
		コミュニティ・ヘルスケア実践 (IPE)	
		研究能力養成コース	学術論文入門
			Scientific Writing and Presentation
先端研究			
臨床能力養成コース	基礎自主研修		
	救命救急		
	臨床診断推論		
選 択 制 コー ス	基本臨床技能実習		
	研究力養成コース		
		BRJ 活動	

(2) 医学部保健医療学科看護学専攻

区分	科目名
専門基礎科目	臨床国際コミュニケーション
	人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ 臨床栄養学 疾病・治療論Ⅰ～Ⅵ 臨床発達心理学
	社会保障制度論 医療社会学 ヘルスプロモーション グローバルヘルス 疫学・保健統計学Ⅰ、Ⅱ 保健統計分析
専門科目	看護学概論Ⅰ、Ⅱ 基礎看護技術Ⅰ、Ⅱ フィジカルアセスメント 看護過程論 看護演習
	母性看護学概論 母性看護論 母性看護援助論 小児看護学概論 小児看護論 小児看護援助論 成人看護学概論 高齢者看護学概論 高齢者看護論 高齢者看護援助論
	セルフマネジメント看護論 セルフマネジメント看護援助論 クリティカルケア看護論 周術期看護援助論 緩和ケア看護論 リハビリテーション看護論 精神看護学概論 精神看護論 精神看護援助論
	地域・在宅看護論 災害看護論 公衆衛生看護学概論 健康教育方法論
	看護提供システム論 チーム医療と医療安全 看護研究Ⅰ、Ⅱ
	地域診断方法論 救急看護援助論 次世代健康支援看護学 コミュニティ・ヘルスクエアⅠ、Ⅱ 学際的健康科学
	基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱ 在宅看護学実習 急性期看護学実習 慢性期看護学実習 高齢者看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 看護管理学実習 看護学統合実習 多文化健康支援実習
	公衆衛生看護活動論Ⅰ～Ⅲ 公衆衛生看護技術 公衆衛生看護管理論Ⅰ、Ⅱ 保健医療福祉行政論Ⅰ、Ⅱ
	公衆衛生看護学実習A、B

(3) 医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻

〔理学療法学コース〕

区分	授業科目
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 運動学 運動学実習 人間発達学
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 内科学 病理学 脳神経科学 整形外科学 小児科学 精神医学 感覚器学 臨床コミュニケーション論 救命救急学 臨床薬理学 臨床栄養学 画像評価学 公衆衛生学 ヘルスプロモーション
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念 リハビリテーション概論 IPW論 社会医療論 保健医療福祉論 国際リハビリテーション論
専門科目	基礎理学療法学 基礎理学療法学セミナーⅠ 基礎理学療法学セミナーⅡ 医療統計学Ⅰ 医療統計学Ⅱ デジタルヘルスクエア論 次世代健康支援論 理学療法学研究法
	理学療法管理学 理学療法学概論 リハビリテーション管理学
	理学療法評価学 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 体表解剖学 臨床技能演習
	理学療法治療学 運動療法学総論 物理療法学 運動器障害理学療法学 神経障害理学療法学 内部障害理学療法学 小児理学療法学 日常生活動作学 義肢装具学 スポーツ傷害理学療法学 急性期理学療法学 高齢者理学療法学 リハビリテーション工学 卒業研究
	地域理学療法学 地域理学療法学 生活環境論
	臨床実習 臨床実習Ⅰ（見学） 臨床実習Ⅱ（評価） 臨床実習Ⅲ（総合1） 臨床実習Ⅳ（総合2） 臨床実習Ⅴ（地域）

※ 令和7年度予定の授業科目を紹介しています。

〔作業療法学コース〕

区分	授業科目
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 生理学Ⅰ 生理学実習 運動学 運動学実習 人間発達学
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 内科学 病理学 脳神経科学 整形外科学 小児科学 精神医学 感覚器学 臨床コミュニケーション論 救命救急学 臨床薬理学 臨床栄養学 画像評価学 公衆衛生学 ヘルスプロモーション
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念 リハビリテーション概論 IPW論 社会医療論 保健医療福祉論 国際リハビリテーション論

専 門 科 目	基礎作業療法学	基礎作業療法学セミナーⅠ 基礎作業療法学セミナーⅡ 医療統計学Ⅰ 医療統計学Ⅱ 作業療法学理論 作業療法学研究法
	作業療法管理学	作業療法学概論 リハビリテーション管理学
	作業療法評価学	身体障害作業療法評価学演習 精神障害作業療法評価学演習 発達障害作業療法評価学演習 老年期障害作業療法評価学演習 臨床技能演習
	作業療法治療学	身体障害作業療法治療学 身体障害作業療法治療学演習 精神障害作業療法治療学 精神障害作業療法治療学演習 発達障害作業療法治療学 発達障害作業療法治療学演習 老年期障害作業療法治療学 老年期障害作業療法治療学演習 高次脳機能障害作業療法学 高次脳機能障害作業療法学演習 日常生活活動支援学 日常生活活動支援学演習 義肢装具学 リハビリテーション工学 卒業研究
	地域作業療法学	地域作業療法学 地域作業療法学演習 生活環境論
	臨床実習	臨床実習Ⅰ（見学） 臨床実習Ⅱ（評価Ⅰ） 臨床実習Ⅲ（評価Ⅱ） 臨床実習Ⅳ（総合Ⅰ） 臨床実習Ⅴ（総合Ⅱ） 臨床実習Ⅵ（地域）

※ 令和7年度予定の授業科目を紹介しています。

(4) 薬学部 薬学科（6年制）・生命薬科学科（4年制）

「カリキュラムの概要と進路」

薬学科では、医薬品と薬物療法に関わる医療科学を総合的に学び、薬剤師国家試験の受験資格を得ることができます。薬剤師をはじめ、医療に関わる種々の分野に貢献できる人材を育成することを目指した6年間の教育課程となっています。

生命薬科学科では、創薬生命科学の基礎から先端にいたる幅広い知識を学びます。それを基盤にした医薬品の開発研究者をはじめ、生命科学と医療の発展に貢献できる人材を育成することを目指した4年間の教育課程となっています。

両学科の教育課程ともに、講義、実習、卒業研究を通じて体系的かつ実践的に専門能力を身に付けることができるようになっていきます。また、これまで薬学部卒業生の多くは大学院に進学し、さらに高度な創薬生命科学又は医療機能薬学を身に付けた上で、医薬品の開発研究者や高度医療に貢献する薬剤師として活躍しています。

区 分	科 目 名
基礎薬学科目	薬学概論Ⅰ・Ⅱ 先端薬科学 機能形態学Ⅰ・Ⅱ 薬学物理化学Ⅰ～Ⅲ 構造生物学 薬品分析化学 機器分析化学 薬学有機化学Ⅰ・Ⅱ 薬学無機化学 基礎生物化学 生物薬品化学Ⅰ・Ⅱ 衛生化学 環境衛生学 微生物感染症学 細胞生物学Ⅰ・Ⅱ 生薬学Ⅰ・Ⅱ 漢方薬物治療学 医薬品代謝学 放射薬品学 薬理学Ⅰ～Ⅳ 臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ 薬剤学Ⅰ・Ⅱ 製剤学Ⅰ・Ⅱ 有機反応化学Ⅰ～Ⅳ 免疫学 病態生化学 医薬品情報学 医療経済学 生物統計学Ⅰ・Ⅱ 薬事関連法・制度 公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 薬学英語Ⅰ～Ⅳ 医薬品化学 生物有機化学
医療薬学科目 ^{a)}	薬局管理学 医療薬学Ⅰ～Ⅳ
生命薬科学科目 ^{b)}	有機金属化学 コロイド・高分子科学 バイオインフォマティクス ケミカルバイオロジー 分子神経科学 ドラッグデリバリー論 創薬科学・知的財産活用論
演習科目	有機化学演習 薬学情報処理演習 プレゼンテーション演習 基礎薬学演習 ^{a)} 臨床薬学 ^{a)} 薬学演習Ⅰ・Ⅱ ^{a)} 薬学特別演習 生命薬科学演習 ^{b)}
実習科目	薬学実習（物理系実習Ⅰ～Ⅱ、化学系実習Ⅰ～Ⅲ、生物系実習Ⅰ～Ⅲ、医療機能系実習Ⅰ～Ⅱ） 臨床薬学実務実習Ⅰ～Ⅲ（事前学習、病院実習、保険薬局実習） ^{a)} 臨床薬学実習 ^{a)} 卒業研究実習
地域医療学卒前教育 ^{a)}	地域医療学基礎・応用・発展・実践

a) 薬学科のみで履修する科目； b) 主に生命薬科学科のみで履修する科目； 他の科目は両学科共通

(5) 経済学部 公共政策学科・マネジメントシステム学科・会計ファイナンス学科

経済現象の解明には、経験科学としての論理・実証分析が重要視されるので、政策や経営に関心を抱くと共に数理的な思考・分析能力、歴史的洞察力が必要です。

※令和7年4月より、「経済経営学科」1学科に改組します。

〔公共政策学科〕

区 分	科 目 名
学 部 共 通 科 目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学 科 基 礎 科 目	マクロ経済学 ミクロ経済学 公共経済学 国際経済学 金融論 財政学 経済史 情報処理論 簿記論 データ分析基礎 統計分析基礎 憲法 行政法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政 経済学史
学 科 応 用 展 開 科 目	金融政策論 社会保障論 インセンティブの経済学 公共政策 地方財政論 租税論 産業組織論 実験経済学 国際公共政策論 経済開発論 医療経済学 応用マクロ政策 応用公共政策 都市経済学 国際金融論 行政学 日本経済史 外国経済史 国際経済関係論 労働市場政策 人事経済学 金融システム論 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 計量経済学 会社法 知的財産法 民法 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

〔マネジメントシステム学科〕

区 分	科 目 名
学 部 共 通 科 目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学 科 基 礎 科 目	経営組織 経営戦略 組織行動 企業論 イノベーション・マネジメント マーケティング マーケティングリサーチ 労働経済学 制度経済学 経済学史 経済史 世界経済論 国際経済学 情報処理論 簿記論 データ分析基礎 財務分析 財務会計 会社法 知的財産法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政 管理会計
学 科 応 用 展 開 科 目	変革マネジメント 制度と文化のマネジメント 経営管理 人材マネジメント 国際経営論 商品開発 消費者行動論 消費者行動分析 決定と知識のマネジメント 生産管理 地域企業活性化論 日本経営史 日本 経済史 外国経済史 外国経営史 国際経済関係論 労働市場政策 人事経済学 事例研究特論 マクロ経済学 ミクロ経済学 公共経済学 金融論 財政学 インセンティブの経済学 産業組織論 経済開発論 国際金融論 行政学 企業ファイナンス 統計分析基礎 応用財務分析 コーポレートガバナンス 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

〔会計ファイナンス学科〕

区 分	科 目 名
学 部 共 通 科 目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学 科 基 礎 科 目	情報処理論 簿記論 企業ファイナンス 先物・オプション入門 データ分析基礎 統計分析基礎 財務分析 財務会計 管理会計 マクロ経済学 ミクロ経済学 金融論 財政学 企業論 経営組織 経営戦略 マーケティング マーケティングリサーチ 会社法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政
学 科 応 用 展 開 科 目	応用財務分析 税務会計 監査論 コーポレートガバナンス ファイナンス分析 簿記実務 会計実務 ファイナンス実務 財務情報処理 応用企業ファイナンス 金融システム論 証券投資論 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 計量経済学 金融政策論 国際金融論 行政学 組織行動 イノベーション・マネジメント 労働経済学 経営管理 人材マネジメント 国際経営論 商品開発 消費者行動論 消費者行動分析 知的財産法 民法 租税法 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

(6) 人文社会学部 心理教育学科・現代社会学科・国際文化学科

人文社会学部では、学部発足以来の「豊かで人間らしい生き方 well-being」という教育・研究の目標をふまえ、「持続可能な発展 Sustainable Development」が模索されているなか、ESD(Education for Sustainable Development)を「自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの『持続可能な生き方/あり方』を捉え直す教育」として実現することをめざし、学部共通科目としての基礎科目を設定し、それを土台として、3つの学科のカリキュラムを編成しています。

〔学部共通科目〕

基 礎 科 目	
ESD 入門 (地球規模の課題) グローバル化と経済開発 多文化共生 人の移動とグローバル・シティズンシップ (地域の課題) 都市開発と自然との共生 自文化理解 マイノリティとの共生	

〔心理教育学科〕

区 分		科 目 名
基 幹 科 目		ESD 概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 心理学概論 教育学概論2 教職概論1 発達心理学1 現代教育社会学 心理学統計法1 教育学概論1 臨床心理学概論 言語習得論
展 開 科 目	人 の 理 解	知覚・認知心理学B (認知心理学) 発達心理学2 学習・言語心理学 感情・人格心理学 神経・生理心理学 知覚・認知心理学A (知覚心理学) 動作学 現代日本語論 憲法2 人間関係論
	人 を 育 む	教育史 教育制度論 保育・教育課程総論 教育課程論 教育内容論 保育内容総論 教育方法論1・2 特別支援教育1 保育原理 教職概論2 心理学的支援法 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学A (教育心理学) 教育・学校心理学B (教育相談) 福祉心理学
	生 涯 発 達 と 環 境	社会・集団・家族心理学A (社会・集団心理学) 社会・集団・家族心理学B (家族心理学) 健康・医療心理学 産業・組織心理学 司法・犯罪心理学 教育社会学 比較教育学 多文化保育・教育論 家族社会学 (家庭支援論) 児童・家庭福祉論2 環境教育論 現代都市問題 NGO 論 社会的ネットワーク論 地域社会学
	心 理 ・ 教 育 の 技 法	心理学統計法2 心理学実験1・2 心理学研究法 心理的アセスメント ESD 演習 (スタディツアー) 子ども青少年支援演習 保育内容演習 (健康・人間関係・環境・言葉・音楽的表現・造形的表現) 子どもの理解と援助 子ども家庭支援の心理学 保育・教職実践演習 (幼稚園) 社会調査法
関 連 科 目		社会的養護 社会的養護内容 子どもの保健 子どもの健康と安全 医療と保育1・2・3 子どもの食と栄養 保育相談支援 乳児保育1・2 保育内容演習2 (健康・表現) 音楽表現1・2 造形表現 身体表現1・2 言語表現1 保育実習1 (保育所・施設) 保育実習指導1 (保育所・施設) 保育実習2 保育実習指導2 保育実習3 保育実習指導3 学校体験活動 幼稚園教育実習 (含事前事後指導) 医療保育実習 公認心理師の職責 人体の構造と機能及び疾病 関係行政論 精神疾患とその治療 心理演習 心理実習1・2 行政法1・2 民法1・2
演 習		基礎演習 発展演習 専門演習1・2・3・4
卒 論		卒業論文

〔現代社会学科〕

区 分		科 目 名
基 幹 科 目		ESD 概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 社会情報統計論1 社会調査法 社会調査論 社会経済史 現代社会と福祉2 医療福祉論

展 開 科 目	都 市 と 政 策	現代都市問題 名古屋学2 (名古屋と観光) 国内フィールドワーク NGO論 地域社会学 地方自治論 憲法1・2 民法1・2 行政法1・2 労働法 経済法 会社法 租税法 知的財産法 現代思想 地理学 都市政策論 社会情報統計論2 環境政策論 データ解析法 名古屋と行政 公共政策論 行政学 ESD インターンシップ実習 環境経済学 I・II
	社 会 と 理 論	社会学史 社会思想史 労働社会学 社会的ネットワーク論 政治社会学 メディア社会学1 メディア社会学2 ジェンダー社会学 家族社会学(家庭支援論) ジェンダーと歴史社会 環境社会学 質的調査法 国際法 国際政治史 共生論 経済学原論 日本の歴史(日本近代史1・2) 外国史概論 アジア史 グローバリゼーション研究 哲学 宗教学 社会・集団・家族心理学B (家族心理学)
	福 祉 と 地 域	社会福祉援助技術方法1・2 社会保障論 地域福祉論 公的扶助論 障害者福祉論 社会福祉援助技術総論 児童・家庭福祉論2 特別支援教育2 老人福祉論 更生保護論 コミュニティワーク論 社会福祉管理運営 精神保健の課題と支援 人体の構造と機能及び疾病 権利擁護を支える法制度 スクール(学校)ソーシャルワーク論 スクール(学校)ソーシャルワーク演習 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導 スクール(学校)ソーシャルワーク実習相談援助演習1・2・3・4・5 相談援助実習指導1・2 相談援助実習1・2
関 連 科 目	文化人類学 国際日本学概論 日本文化史2 文化資源論 日本文化論2 国際協力論 アジア文化論 アジア社会論 現代教育社会学 教育史 教育社会学 東南アジア地域研究比較教育学	
演 習	基礎演習 社会調査実習1・2 社会理論演習 発展演習 専門演習1・2・3・4	
卒 論	卒業論文	

〔国際文化学科〕

区 分	科 目 名	
基 幹 科 目	ESD 概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 国際文化学 国際日本学概論 国際文化特講1・2 名古屋学1(名古屋学入門) 名古屋学2(名古屋と観光)	
展 開 科 目	日 本 文 化	文化資源論 人文情報学 日本文化論2 日本とグローバル社会 日本の歴史(日本社会史・日本近代史1・2) 日本文化史1・2 日本の文学1・2 Intercultural Studies 日本経済史 日本語・文化セミナー1・2 現代日本語論
	グ ロー バ ル 文 化	文化人類学 宗教学 哲学 共生論 国際協力論 NGO論 外国史概論 イギリス事情 国際政治史 地理学 国際法 社会思想史 憲法2 ジェンダーと歴史社会 アジア史 アジア社会論 アジア文化論 東南アジア地域研究 アメリカ政治史 アメリカ社会論 グローバリゼーション研究 Area Studies 経済学原論 国際経済学I・II 外国経済史
	言 語 ・ 異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	英語文学概論 英語圏文化論 英語文学講読 英語学概論 英語学各論 英文法概論 英文法各論 英語音声学概論 英語音声学各論 Academic Presentation Academic Writing Research and Presentation Research and Discussion ドイツ語中級 フランス語中級 中国語中級 韓国語中級
	実 践 知 プ ロ ジ ェ ク ト	英語短期研修A・B・C・D ヨーロッパ短期研修A・B・C アジア短期研修A・B・C デ ィズニーインターンシップ 海外フィールドワークA・B・C・D 国内フィールドワークA・ B・C・D・E・F・G 国際センターインターンシップ短期・長期 国内ボランティア・イン ターンシップ1・2・3・4・5・6・7・8・9 ICTプロジェクトA・B・C・D 留学A・B・C・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P 中学校教育実習 高等学校教育実習
関 連 科 目	教職概論2 教育学概論2 特別支援教育2 教育制度論 教育課程論 教育方法論2	
演 習	基礎演習 発展演習 専門演習1・2・3・4	
卒 論	卒業論文	

(7) 芸術工学部 情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科・建築都市デザイン学科

〔情報環境デザイン学科〕

区 分	科 目 名
学 部 共 通 科 目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 情報処理基礎 色彩論 デザイン材料論 人間工学 UXデザイン1 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(D) 構成発想法 表現技法 デジタル表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学 部 共 通 実 習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基 礎 科 目	情報処理 インタラクショナルデザイン論 サウンドデザイン論 映像論 映像表現論 映像表現演習 メディア工学 メディア工学演習 情報通信工学 情報通信工学演習 データサイエンス データサイエンス演習
展 開 科 目	情報処理応用 感性工学 ユーザビリティ工学 ユーザビリティ工学演習 UXデザイン2 音楽情報論 プロダクトデザイン論 デザイン人類学 広告論 デザイン表象論 視覚環境デザイン論 ロボット工学 ロボット工学演習 生体情報工学 生体情報工学演習 コンピュータグラフィックス論 コンピュータグラフィックス演習 色彩工学基礎
実 習	芸術工学実習(D) 1～6
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

〔産業イノベーションデザイン学科〕

区 分	科 目 名
学 部 共 通 科 目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 情報処理基礎 色彩論 デザイン材料論 人間工学 UXデザイン1 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(D) 構成発想法 表現技法 デジタル表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学 部 共 通 実 習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基 礎 科 目	ビジュアルデザイン論 コンピュータグラフィックス論 コンピュータグラフィックス演習 プロダクトデザイン論 視覚環境デザイン論 光電子工学 光電子工学演習 ロボット工学 ロボット工学演習 生体情報工学 生体情報工学演習
展 開 科 目	広告論 視覚情報記号論 デザイン人類学 プロトタイピング工学 プロトタイピング工学演習 音楽情報論 インタラクショナルデザイン論 感性工学 流体工学 情報通信工学 情報通信工学演習 ユーザビリティ工学 ユーザビリティ工学演習 UXデザイン2 色彩工学基礎
実 習	芸術工学実習(D) 1～6
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

〔建築都市デザイン学科〕

区 分	科 目 名
学 部 共 通 科 目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 情報処理基礎 色彩論 デザイン材料論 人間工学 UXデザイン1 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(A) 構成発想法 表現技法 デジタル表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学 部 共 通 実 習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基 礎 科 目	建築史 都市計画 建築環境工学 建築環境工学演習 建築構造学 建築計画 建築計画2 近現代建築史 構造力学 構造力学演習 建築環境心理論
展 開 科 目	都市建築関連法規 建築材料 建築材料実験 建築環境計画 建築環境設備計画演習 建築設備論 建築設備設計学 スペースデザイン 建築構造計画法 構造設計法 建築生産 都市住環境論 地域空間構成論 都市景観デザイン論 ファシリティマネジメント論 建築家の仕事 ランドスケープ設計法

実習	芸術工学実習(A) 1～6 建築表現実習1 建築表現実習2 建築都市フィールドワーク
卒業論等	卒業制作及び卒業研究

(8) 総合生命理学部

区 分		科 目 名
専門基礎科目		総合理学概論 総合理学実験入門 生命科学実験 物質科学実験 生態学 基礎生理学 適応生理学 進化学Ⅰ 生物統計学 生命情報学Ⅰ 生化学 分子生理学 細胞生物学 分子生物学Ⅰ 物理化学 無機化学 有機合成化学 物理数学 力学発展 物理学演習Ⅰ 地学概論 数学序論 代数学Ⅰ～Ⅱ 代数学演習Ⅰ～Ⅱ 離散数学 幾何学Ⅰ～Ⅱ 幾何学演習Ⅰ～Ⅱ 解析学基礎 解析学Ⅰ～Ⅱ 解析学演習Ⅰ～Ⅱ 複素関数論 コンピュータリテラシー コンピュータサイエンス プログラミングⅠ プログラミングⅠ演習
専門科目	生命科学科目	生態測定学 応用生理学 古生物学 進化学Ⅱ 生命情報学Ⅱ 植物生理学 応用生物学 発生生物学 生物機能化学 分子遺伝学 分子生物学Ⅱ 遺伝生化学 総合神経科学 放射線生物学 生命科学各論
	物質科学科目	有機量子化学 機器分析化学 量子力学 物理学演習Ⅱ 統計力学 物性物理学 天体物理学 物質科学各論
	数理情報科学科目	代数学Ⅲ 代数学演習Ⅲ 幾何学Ⅲ 幾何学演習Ⅲ 解析学Ⅲ 解析学演習Ⅲ 確率論 応用統計学 プログラミングⅡ 情報数学A, B 数理情報科学各論
卒業研究関連科目		総合理学実習 専門演習Ⅰ～Ⅲ 卒業研究Ⅰ～Ⅲ
外国語科目		自然科学英語 グローバルコミュニケーション
専門関連科目		総合博物館 数学教育法A～D 理科教育法1, 2 教育学概論2 教職概論2 教育制度論 学校教育心理学 特別支援教育2 教育課程論 教育史 教育社会学 道徳教育 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法論2 ICT活用教育論 生徒・進路指導論 教育相談 介護等体験実習 中学校教育実習 高等学校教育実習 教職実践演習(中・高)

(9) データサイエンス学部

区 分		科 目 名
専門基礎科目		情報処理1 情報処理2 データサイエンス入門 微積分学1 微積分学2 線形代数学1 線形代数学2 情報科学概論 統計分析基礎1 統計分析基礎2 統計分析基礎3 情報の法とセキュリティ データ構造とアルゴリズム論 データベース 情報数学 機械学習基礎 人工知能概論 実験計画法 テキストマイニング データ処理と可視化 多変量解析1 ミクロ経済学 マクロ経済学 財務情報と経営分析 医療とデータサイエンス
専門展開科目	専門発展科目	データマイニング データ調査技法 実践データサイエンス活用 情報処理3 機械学習発展 多変量解析2 数理モデルとシミュレーション 確率統計解析 ベイズ統計 画像処理とパターン認識 情報アクセスシステム 応用情報数学
	データサイエンス 応用科目	計算機シミュレーション 情報通信基礎とIoT 計測装置・自然観測論 人間工学 ビッグデータ活用 財務情報分析 金融工学 計量経済学 応用経済理論 ベンチャー経営 金融論 財政学 国際経済学 マーケティングサイエンス 経営戦略 応用統計 社会医療情報 レギュラトリーサイエンス 健康情報学
専門演習科目		PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2

出願状況速報

本学の出願状況速報について、次のように公表します。

◆ 公表方法

ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

◆ 期間・内容

令和7年1月28日（火） ～ 2月6日（木）（随時）
募集単位別の出願者数 及び 倍率

追加合格の実施状況

本学の追加合格の実施状況について、次のように公表します。

◆ 公表方法

ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

◆ 期間・内容

令和7年3月28日（金） 9：00 ～
追加合格の実施の有無

<注意>

学生募集要項は名古屋市立大学ウェブサイトのみで公表し、紙媒体での配布は行っていません。

■連絡先 : 名古屋市立大学 学生課入試係
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
TEL : 052-853-8020 FAX : 052-841-7428
E-mail : shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp